



令和 7 年 10 月 30 日
附属病院総務課
附属市民総合医療センター総務課

令和 6 年度の医療安全管理の取り組みについて

公立大学法人横浜市立大学附属病院（金沢区福浦 3-9、病院長 ^{えんどう} 遠藤 ^{いたる} 格、病床数 671 床。以下、「附属病院」）及び附属市民総合医療センター（南区浦舟町 4-57、病院長 ^{たむら} 田村 ^{こういち} 功一、病床数 655 床。以下、「センター病院」）の、令和 6 年度における医療安全の向上に向けた取り組みについて、お知らせします。また併せて、医療事故、インシデントの件数についても、お知らせします。

（※医療事故、インシデントの定義は、別添資料「令和 6 年度の医療安全管理の取り組みについて」をご覧ください。）

1 主な医療安全の取り組みについて

横浜市立大学附属 2 病院では、1999 年の医療事故を契機に、他の医療機関に先駆けて医療安全管理部門を設置し、医療安全の向上に取り組んで来ました。医療安全管理に資する情報共有、組織安全文化の醸成、組織横断的な取り組みの推進、感染制御、医療情報との連携を図り、より質の高い安全な医療の提供を行える体制の構築を目指しています。

令和 6 年度の主な医療安全の取り組みは次のとおりです。

（1）附属病院

① 患者確認強化月間の取り組み

当院では、例年 1 月を「患者確認強化月間」としています。当院で起きた患者取り違い事故の教訓を風化させないため、ポスターの掲示や患者確認を啓発するシールの配布、院内巡視、患者へのアンケートなどを実施しました。また、患者確認を行う場面は職種により異なるため、職種別にシナリオを用意しシミュレーション訓練なども行い、患者確認行動の点検なども実施しました。

② 一般病棟における生体情報モニタ監視体制の強化（拡充）

職員の少ない夜間帯に異常の早期発見ができるよう、生体情報監視モニタアラームや生体情報波形を常時確認できるようにするため、小児科、感染症病棟を含む 4 病棟にモバイル端末を導入しました。令和 4 年度から継続的に院内設置を進めており、令和 6 年度は、設置部署の拡大検討とともに、活用により異常の早期発見につなげるための端末設定等詳細な運用の策定に取り組みました。

また、生体情報監視モニタの 7 項目（早期警告スコア）の数値をモニタリングし、遠隔 ICU にて 1 日 2 回中央監視を行い、点数の高い患者に対しラピッド・レスポンスチーム（RRT）（※1 参照）が院内の巡回を実施しています。

③ 薬剤の誤投与/過量投与発生時の観察の適正化

院内で誤投与/過量投与が発生した際は、原因となる薬剤の種類により患者観察を実施すべき時間などが異なります。薬剤ごとのデータ（効果を発揮するまでの時間、効果の持続時間など）

を確認し、科学的な根拠に基づき観察時間を決定するようマニュアルを見直し、より適切な対応が可能な体制となりました。

※1 ラピッド・レスポンスチーム（RRT）

医師（集中治療部・救急科・麻酔科）・認定看護師や特定行為研修修了看護師が専門的な知識を持ち寄り、病棟で全身状態が悪化するリスクのある患者さんに対して、早期発見、早期介入を行い、医療の質の向上を目的としている専門チームです。

（2）センター病院

① 転倒・転落予防に向けた取り組み

「入院患者における転倒・転落発生率」を医療安全モニタリング指標に設定し、改善活動として患者説明用紙の改訂と転倒予防動画の活用を通じた患者参加推進、トイレの施設改修・注意喚起のポスター掲示に取り組みました。

② 病理・画像診断報告書確認サポートチームの設置

病理診断報告書や画像診断報告書の確認漏れの防止、報告書に記載された重要所見を主治医等が認識し、診断・治療に反映されているか早期に確認することを目的に、病理・画像診断報告書確認サポートチームを設置し、活動を開始しました。

③ 医療安全文化調査の実施

医療安全文化の醸成度や職員の医療安全に対する関心の程度等の測定を目的に、令和6年12月、全職員を対象に「医療における安全文化に関する調査」を実施しました。得られた結果について、各種会議体や各診療科・部署との個別面談を通じてフィードバックを行い、改善活動につなげました。

④ 医療安全講演会の開催

院内全体の医療の質、医療安全向上を目的に、コンフリクトマネジメント等をテーマに、内部・外部講師による講演会を3回開催しました。

2 即時公表となった医療事故等の件数（過去5年間）

横浜市立大学附属2病院医療事故公表基準に基づき、医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、それが死因となった場合、もしくは「永続的な障害や後遺症が残る」等、患者さんに相当の有害な結果を生じさせた場合には即時に公表することとしています。

令和6年度は、該当する案件はありませんでした。

年 度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
附属病院	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
センター病院	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

3 一括公表となった医療事故等の件数（過去5年間）

横浜市立大学附属2病院医療事故公表基準に基づき、医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、濃厚な処置や治療を要した場合には、一括して個別事例を公表しています。

令和6年度は、センター病院は該当なしで、附属病院は1件の案件（同意が得られず非公表）が該当しました。

年 度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
附属病院	3 件	1 件	2 件	0 件	1 件
センター病院	0 件	0 件	2 件	1 件	0 件

4 インシデント報告件数（過去 5 年間）

インシデント報告は、大きな事故に繋がりがねない小さなリスクも敏感に捉え、改善に活かそうとする病院職員の意識の表れでもあります。（インシデント報告件数の 7 割以上は、国立大学病院長会議のレベル分類に基づくレベル 1（※ 4 参照）に該当するものです）

インシデント事例は、内容の検討を通じて病院内への注意喚起等を行っているほか、医療に係る事故の発生の予防及び再発の防止に資すると考えられる警鐘的な事例については、日本医療機能評価機構への報告を通じて公表しています。

※ 4 レベル 1

患者に実施され、患者への実害はなかったが、何らかの影響を与えた可能性はあるものです。

年 度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
附属病院	5,665 件	5,853 件	5,758 件	5,519 件	5,398 件
センター病院	7,826 件	7,538 件	6,877 件	7,039 件	7,463 件

YCU
横浜市立大学

お問い合わせ先		
附属病院 総務課長	友田 安政	Tel 045-787-2804
附属市民総合医療センター 総務課長	藤本 剛	Tel 045-253-5302

令和6年度の医療安全管理の取り組みについて

令和7年10月30日

公立大学法人横浜市立大学

附属病院

附属市民総合医療センター

目 次

I	主な改善検討事例		1
II	入院患者アンケート調査結果		4
III	医療事故公表基準等		6
IV	インシデント報告の状況		8

(参考) 資料中での病院名の正式名称は次のとおりです。

附属病院 : 横浜市立大学附属病院

センター病院 : 横浜市立大学附属市民総合医療センター

I 主な改善検討事例

1 附属病院

	検討項目	改善検討内容
1	モバイル端末を用いた生体情報モニタ監視体制の強化	夜間帯、ナースステーションに看護師が不在の場合でも心電図など生体情報を遠隔で確認できるように、電子カルテカートへのモバイル端末設置を令和4年度から開始し設置病棟を順次拡大している。異常の早期覚知を確実にするため、端末の設定や運用の詳細を定め周知を行った。
2	薬剤の誤投与/過量投与後の観察の薬理学的データに基づく適正化	薬剤の誤投与/過量投与が起きた後に観察が必要となる時間は薬剤の種類によって異なる。薬剤の薬理学的データ(効果を発揮するまでの時間、効果の持続時間)を確認し科学的根拠に基づき観察時間を決定するよう定め周知を行った。
3	造影剤の取り間違い防止のための保管場所の整理	エックス線を用いた画像検査においては、対象臓器や用途に応じて様々な種類や濃度の造影剤が用いられる。誤った造影剤の使用により生命に関わる重篤な副作用が生じる場合があるため、造影剤の取り間違いを防止するために保管場所の整理を行った。造影剤は用途別に色分けした区画を割り当て、対象臓器のイラスト掲示なども加えて、視覚的な識別を容易とした。
4	厚生労働省の一般市民向け医療安全啓発動画への作成協力	厚生労働省では毎年11月25日を含む1週間を「医療安全推進週間」と定めている。令和6年度は医療機関向けの啓発活動に加えて一般市民向けの啓発動画も作成され、当院はこの動画作成に全面的に協力し、病院の医療安全の取り組みや患者確認における患者参加の実例などを紹介した。
5	生体情報モニタのアラーム(警報)無駄鳴りの軽減	無線で通信を行う心電図モニタを装着している患者が検査などで入院病棟を離れる場合、ナースステーションで所定の操作を行う必要がある。その操作を省くとアラーム(警報)が鳴ってしまい、対応が必要な他患者のアラームと区別が困難になることがあった。今回、その操作を患者の装着機器側でも実施可能とし、操作を省いたことによるアラームの無駄鳴りを防止することができるようにした。
6	患者確認強化月間における職種別患者確認シミュレーションの実施	当院では、毎年1月を「患者確認強化月間」と定め、ポスター掲示や放送による啓発や診療現場の巡視などを行っている。患者確認を行う場面や状況は職種により異なるため、職種別にシナリオを用意してシミュレーション訓練を行い、多くの職員の患者確認行動の点検を行った。
7	医療用麻薬の供給不足による代替麻薬使用を安全に使用するための救急カート配置薬の見直し	フェンタニル(医療用麻薬)の供給が全国的に不足し、代替として同じ医療用麻薬のモルヒネを使用する頻度が増えた。モルヒネの使用により呼吸抑制などの副作用が病棟で増加することが懸念され、緊急で対応できる拮抗薬※を院内各所の救急カート内に配置した。 ※拮抗薬: 特定の薬剤の効果をなくす、あるいは抑える作用のある薬
8	患者の個別性に応じた説明を補助するための説明文書改訂	手術・検査等の前に患者への説明を行う際には、その内容や想定される効果・合併症などを詳細に記載した説明文書を用いている。しかし、一般的な内容に加えて、個々の患者状態により特別に注意が必要となる事項も多く、医師の口頭での説明に加えて、患者が後から見返すことができるよう文書での追記欄を説明文書に設けた。
9	洗浄に用いる点滴用チューブの識別	体の中に溜まった膿や血液を排出するために、溜まった空間にチューブを留置し、生理食塩液などで持続的に洗浄することがある。生理食塩液などは点滴用チューブを使用して接続するため、血管に繋がった点滴用チューブを明確に区別する必要があり、識別表示や点滴架台を分けることなどのルールを定めて周知した。

2 センター病院

	検討項目	改善検討内容
1	検査・処置等における鎮静マニュアルの改定および運用整備	鎮静の運用実態の調整を行い、現場に即した安全な鎮静管理法に関する改訂を行った。また鎮静管理に関するe-Learningの新規開講、新たに4診療科から鎮静プロトコルの申請・登録手続き、その他各診療科からの新規プロトコル申請方法の整備を行った。
2	転倒・転落予防に向けた取り組み	「入院患者における転倒転落」を安全QI指標に設定し、改善活動に取り組んだ。入院患者でトイレ内(特に、排泄後)での転倒が高かったため、トイレの施設改修、注意喚起のポスター掲示(便座に座った際に目に留まるポスター)に取り組んだ。また積極的に患者参加を促すため、患者説明用紙「転倒・転落予防のために」を改訂し、予防動画の閲覧を含め、患者が活用しやすい体制づくりに取り組んだ。
3	患者誤認防止に向けた取り組み	患者確認(患者同定における2識別子、同姓・類似名称患者が入院した場合の対応等)について、運用の見直しと周知を行った。安全管理対策委員会委員/リスクマネジャー/医療の質・安全管理部メンバーによる安全巡回を実施し、遵守状況の確認と課題の抽出に取り組んだ。
4	医療安全文化調査の実施	令和6年12月、全教職員を対象に「医療における安全文化に関する調査」を実施した。得られた結果について、各種会議体や各部署個別面談を通じてフィードバックを行い、改善活動につなげている(フィードバックの一部は、令和7年度に実施)。
5	病棟における、電子カルテ・PDAの電波状況調査・改善の実施	安全巡回で、患者認証の際に電子カルテやPDA端末の登録ができない(電波状況が不良)との意見が聴取された。システム担当と協働し、全病棟を対象に実態調査を行い、複数病棟で電波干渉等が確認されたため、補正が行われた。
6	与薬時の患者確認に関する実態調査と運用の見直し	与薬時の患者誤認防止に向け、一連の与薬場面(「指示確認時」、「懸濁時」、「配薬・与薬時」)における患者確認の方法を検討した。トライアル期間を設けて運用を行い、実現可能性を確認した結果を踏まえ、「医療安全マニュアル」に反映された。
7	リスクマネジャーの教育と安全意識向上に向けた取り組み	リスクマネジャーによるグループワークを通じ、現場目線の改善策について年度を通じて取り組んだ。例)「引き算業務を見つける」、「電話連絡を減らす」、「院内ハザードマップ」、「知られていない院内の仕組み」、「職員の士気が上がる取り組み」など
8	中心静脈カテーテル挿入 指導者研修会の開催	中心静脈カテーテル留置術に関し、登録医制度を実施しているが、リアルタイム超音波ガイド下で、血管外へのカテーテル迷入した事例が発生したことを受け、超音波ガイド下で穿刺する際の注意点を認識し、確実な手技につなげる目的で、指導的立場にある医師を対象に研修会を開催した(24名/12診療科が参加)。
9	病理・画像診断報告書確認サポートチームの設置	病理診断報告書や画像診断報告書の確認漏れの防止、報告書に記載された重要所見を主治医等が認識し、診断・治療に反映されているか早期に確認することを目的に、安全管理対策委員会の下に、病理・画像診断報告書確認サポートチームを設置した。
10	医療安全マニュアルの全面改定(第16版)	説明・同意に関しては、診療録記載マニュアルへ移設。それ以外を各所管に確認または、WGを立ち上げ検討し改訂を行った。(令和6年4月1日付)

	検討項目	改善検討内容
11	安全管理指針の全面改定 (第16版)	大きな変更点がないことを安全対策委員会に諮り改訂した。(令和6年4月1日付け)
12	安全ポッケ(第7版)全面改定	高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等の申請についてを追加、他の項目は医療安全マニュアルに則り改訂に取り組んだ。(令和6年4月1日付け)
13	WHO世界患者安全の日(9月17日)のイベント開催	センター病院と附属病院の共同で、世界患者安全の日(9月17日)に合わせて「あなたの声が鍵を握る！一緒につくろう、安全な医療」をスローガンに、患者や市民向けの安全な医療の実現に向けたイベントを開催した。
14	診療科部長・中央部門長・リスクマネージャーと安全管理部との個別面談の実施	41部署(診療科・中央部門)に実施し、年間の改善計画を作成、取り組み結果を報告を共有した。「放射線読影体制」に関する課題共有、年間重点項目として、「インシデントの共有と対策・立案に向けた取り組み」を提示し、PDCAサイクルについて共通理解を図った。
15	Team STEPPS研修会の開催	3回(55名参加)開催し、チーム医療の重要性など理解を深めることができた。
16	令和6年度 医療安全講演会のハイブリッド開催	第1回医療安全講演会「能登地震からの教訓 ～覚悟をきめなければ人を救えない～ 需要と供給のバランスから考える災害対応」 救急医学教室 主任教授 / 高度救命救急センター長 竹内一郎 受講者:101名
17		第2回 医療安全講演会「管制官の業務について／管制官の安全管理について」 国土交通省航空局交通管制部管制課 運用第一係長 土橋卓弥 国土交通省航空局交通管制部管制課 安全評価管理係長 中田圭祐 受講者:109名
18		第3回医療安全講演会「大切にしよう！患者・ご家族とのコミュニケーション ～医療対話の伝道師に聞く！コンフリクトを予防・拡大防止する方法～」 山梨大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 特任教授 / 部長 荒神裕之 受講者:101名
19	院内医療安全情報 「SAFETY EYES」の毎月発行	SAFETY EYES 50号「安全マニュアル・ポッケを上手に使いましょう」 SAFETY EYES 51号「『安全動画』活用していますか？」 SAFETY EYES 52号「リアルタイムエコーガイド下中心静脈カテーテル穿刺のリスク」 SAFETY EYES 53号「換気困難を疑う時の確認手順」(緊急) SAFETY EYES 54号「病理・画像検査の結果確認は、依頼医師の責務です。」 SAFETY EYES 55号「大切にしよう！患者・ご家族等とのコミュニケーション」 SAFETY EYES 56号「患者確認方法の周知をお願いします！」 SAFETY EYES 57号「ベッド周囲・トイレでの転倒に注意！」 SAFETY EYES 58号「ジャクソンリースによる換気困難事例発生!! 使用するには正しい知識と訓練が必要です!!」(緊急) SAFETY EYES 59号「そのモニタ、本当に必要ですか？」 SAFETY EYES 60号「休止薬の再開忘れに注意！」 SAFETY EYES 61号「左右の間違いに注意！」 SAFETY EYES 62号「患者さんを見て！見て！診て！」

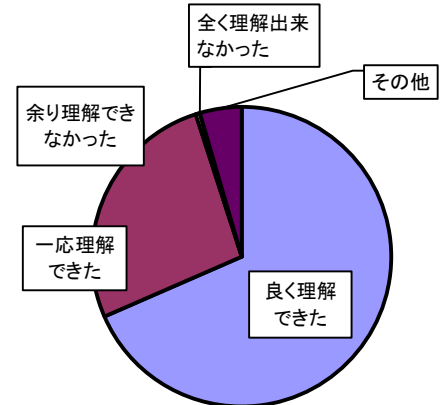
Ⅱ 入院患者アンケート調査結果（令和6年4月～令和7年3月）

※【各表について】小数点以下第2位を四捨五入しているため、見た目の計算結果が合計値と合わないことがあります。

1 附属病院

設問1 病状や治療方針の説明はわかり易かったですか

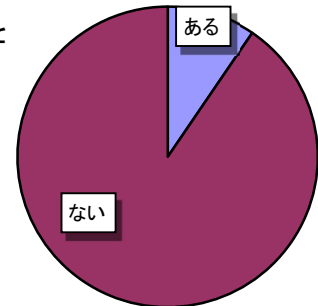
	令和6年度合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
良く理解できた	443	68.5%	65.8%
一応理解できた	172	26.6%	28.3%
余り理解できなかった	3	0.5%	1.8%
全く理解出来なかった	0	0.0%	0.4%
その他	29	4.5%	3.8%
合 計	647	100%	100%



設問2 治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われたこと、その他、気づかれたことや不満に思われたこと

	令和6年度合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
ある(※)	60	9.5%	10.3%
ない	570	90.5%	89.7%
合 計	630	100%	100%

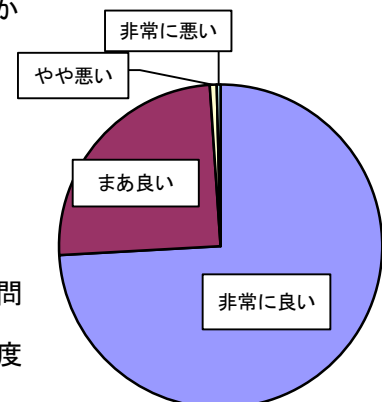
(※) 代表的な事例：採血・点適時の医療従事者による技術不足、治療・検査・処置等に関する説明不足、院内設備や清掃に関する不満



設問3 医師、看護師、薬剤師、技師などの対応について、どう感じたか

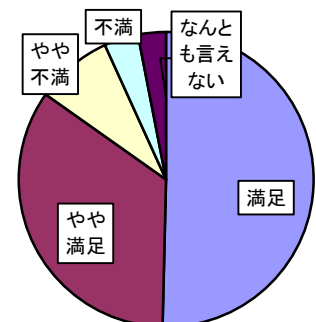
	令和6年度合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
非常に良い	1,771	74.1%	69.5%
まあ良い	592	24.8%	26.2%
やや悪い	17	0.7%	0.7%
非常に悪い	9	0.4%	1.4%
分からない	—	—	2.1%
合 計	2,389	100%	100%

※令和5年度7月以降、職種別（医師・看護師・薬剤師・技師）の質問項目に変更したため、回答数は各職種の合計回答数を記載しています。また、「分からない」は回答項目から削除したため、令和6年度は0件です。



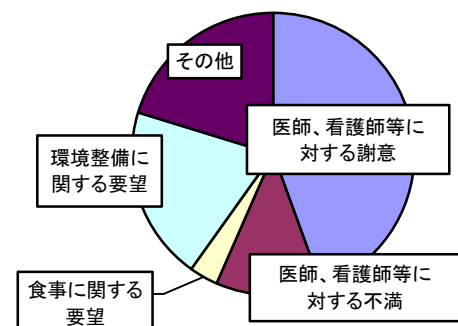
設問4 病室、トイレ、ディールーム、食事など療養環境について

	令和6年度合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
満足	311	50.4%	52.3%
やや満足	212	34.4%	32.1%
やや不満	52	8.4%	9.1%
不満	23	3.7%	4.6%
なんとも言えない	19	3.1%	1.9%
合 計	617	100%	100%



設問5 その他の意見

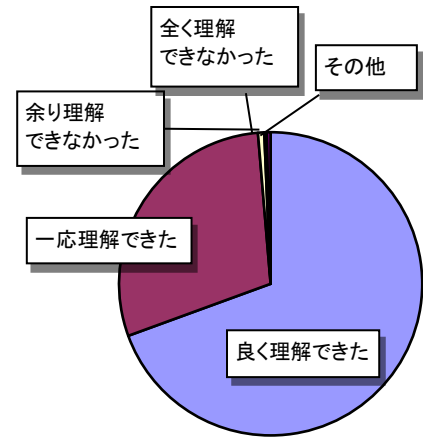
	令和6年度合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
医師、看護師等に対する謝意	314	44.4%	43.7%
医師、看護師等に対する不満	86	12.2%	9.5%
食事に関する要望	23	3.3%	2.5%
環境整備に関する要望	141	19.9%	16.8%
その他	143	20.2%	27.5%
合 計	707	100%	100%



2 センター病院

設問1 病状や治療方針の説明はわかり易かったですか

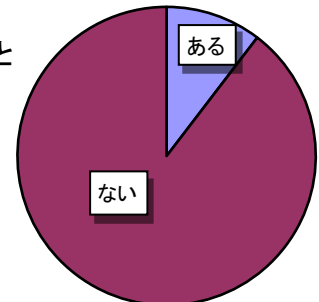
	令和6年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
良く理解できた	829	69.4%	69.6%
一応理解できた	349	29.2%	28.2%
余り理解できなかった	8	0.7%	1.5%
全く理解出来なかった	3	0.3%	0.4%
その他	5	0.4%	0.3%
合 計	1,194	100%	100%



設問2 治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われたこと、その他、気づかれたことや不満に思われたこと

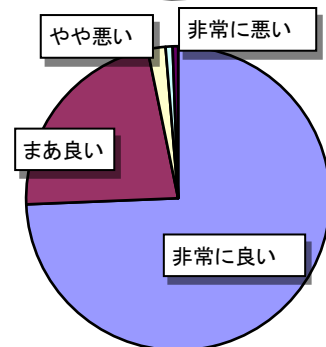
	令和6年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
ある(※)	117	10.4%	9.0%
ない	1,008	89.6%	91.0%
合 計	1,125	100%	100%

(※) 代表的な事例：点滴・注射における技術不足、手術や検査内容に関する説明不足等



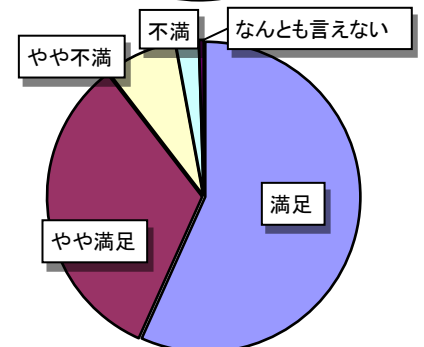
設問3 医師、看護師、薬剤師、技師などの対応について、どう感じたか

	令和6年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
非常に良い	899	74.4%	77.3%
まあ良い	271	22.4%	19.9%
やや悪い	23	1.9%	1.2%
非常に悪い	9	0.7%	0.9%
分からない	7	0.6%	0.7%
合 計	1,209	100%	100%



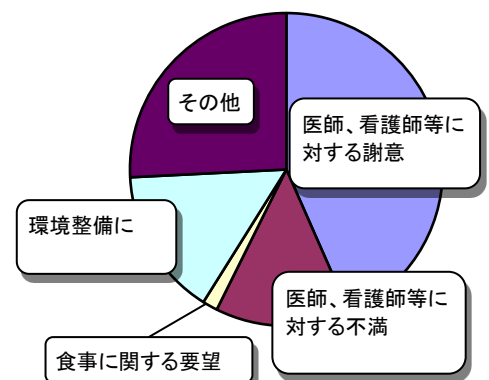
設問4 病室、トイレ、ディールーム、食事など療養環境について

	令和6年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
満足	684	56.7%	57.4%
やや満足	396	32.8%	33.4%
やや不満	91	7.5%	6.1%
不満	29	2.4%	2.1%
なんとも言えない	6	0.5%	1.0%
合 計	1,206	100%	100%



設問5 その他の意見

	令和6年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
医師、看護師等に対する謝意	641	43.4%	52.9%
医師、看護師等に対する不満	206	13.9%	12.2%
食事に関する要望	23	1.6%	1.9%
環境整備に関する要望	226	15.3%	14.5%
その他	381	25.8%	18.5%
合 計	1,477	100%	100%



医療事故の公表について

平成13年 2 月 16 日 制定

平成29年 9 月 27 日 改正

横浜市立大学附属病院及び同市民総合医療センター（以下「附属 2 病院」といいます。）は、平成11年 1 月の患者取り違え事故をはじめ、平成25年4月の酢酸の誤注入事故など、これまでに引き起こした医療事故の反省の上に立って、病院を挙げて医療安全管理対策を推進してきました。

横浜市立大学では、医療事故が発生した際には、その情報を公表することによって病院運営の透明性を高めることが、信頼を回復するために重要であると考え、平成12年8月に医療事故公表基準作成特別委員会を設置し、附属 2 病院における医療事故の公表についての考え方をとりまとめました。それに基づき、平成13年度からは、事務系責任職、附属 2 病院統括安全管理者、外部有識者等で構成する「医療事故公表判定委員会」にて、医療事故の公表についての審議を行い、公表を行ってきました。

その後、医療法改正による院内報告制度の義務化、日本医療機能評価機構が行う医療事故情報収集等事業の整備、医療事故調査制度の開始などにより、本学が独自の基準を持って医療事故の公表の判断を行う必要性は徐々に無くなってきました。そのため、平成28年度をもって医療事故公表判定委員会は解消し、附属2病院は「国立大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針」に準拠した基準に基づき、院内で公表に関する判断を行うこととなりました。その上で、院内での公表判断の適切性を、新たに設置した外部有識者等による「横浜市立大学附属 2 病院監査委員会」が監査することとしました。

1 医療事故の公表の意義

医療事故を公表することには、次のような意義があるものと考えます。

- (1) 医療事故の事実や改善策を院内だけでなく他の医療機関と共有することにより、類似の医療事故の再発を広く防止することができる。
- (2) 適切な判断基準を持って公表を行うことは、医療の透明性を高め、市民からの信頼性の向上を図ることができる。

2 用語の定義

本報告において使用する用語の定義は、次のとおりです。

(1) 医療事故

- ① 誤った医療又は管理を行ったことが明らかであり、その行った医療又は管理に起因して、患者が死亡し、若しくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事例。
- ② 誤った医療又は管理を行ったことは明らかでないが、行った医療又は管理に起因して、患者が死亡し、若しくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事例（行った医療又は管理に起因すると疑われるものを含み、当該事例の発生を予期しなかったものに限る）。

(2) インシデント事例

- ① 医療に誤りがあったが、患者に実施される前に発見された事例。
- ② 誤った医療が実施されたが、患者への影響が認められなかった事例又は軽微な処置・治療を要した事例。ただし、軽微な処置・治療とは、消毒、湿布、鎮痛剤投与等とする。
- ③ 誤った医療が実施されたが、患者への影響が不明な事例。

3 医療事故の公表基準

附属2病院は、次の基準該当する医療事故が発生した場合には、患者さんと御家族の同意のもとに、これを公表します。

- (1) 医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、それが死因となった場合、若しくは「永続的な障害や後遺症が残る」など、患者さんに相当の有害な結果を生じた場合には即時に公表する。
- (2) 医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、濃厚な処置や治療を要した場合には、一括して個別事例を公表する。

上記以外の医療事故は公益財団法人日本医療機能評価機構への報告を通じて公表します。なお、インシデント事例は包括した形で件数等を一括して公表し、原則として個別事例は公表しませんが、医療に係る事故の発生の予防及び再発の防止に資すると考えられる警鐘的な事例は日本医療機能評価機構への報告を通じて公表します。

4 医療事故の公表の判断・判定について

医療事故の公表の判断・判定に関しては、上記の基準をもとに、各病院における会議体で検討し、最終的に病院長が判断します。附属病院では院内医療事故会議（事例検証会議）、センター病院では院内事例検証会議にて検討を行っています。

なお、これらの会議による検討経過、病院長の判断等の一連の事務については外部有識者等による「横浜市立大学附属2病院監査委員会」の監査を受けることとなります。

5 公表及び公表内容についての患者さん及び御家族の同意について

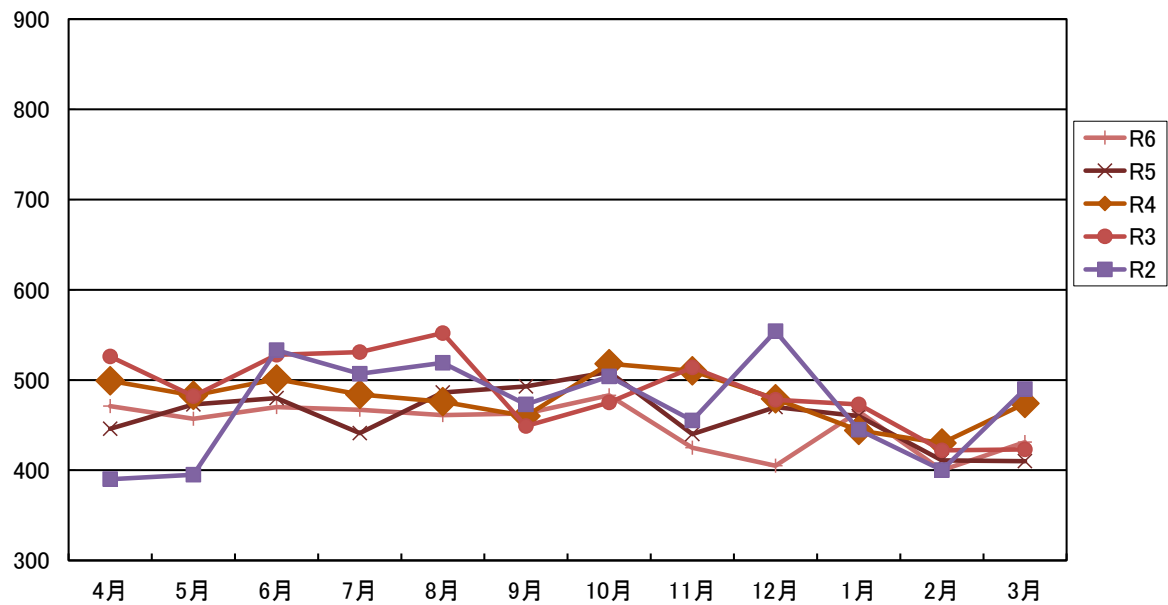
医療事故を報道機関等へ公表する際には、個人情報保護の観点から「報道機関等への公表について」による確認を行います。

Ⅳ インシデント報告の状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

※【各表について】小数点以下第2位を四捨五入しているため、見た目の計算結果が合計欄と合わないことがあります。

1 附属病院

（1）インシデント報告の月別件数



（2）インシデント報告の職種別内訳と提出率

職種	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度	提出率	昨年度	職員数	昨年度
医師	335	282	27.9	23.5	6.2%	5.1%	8.8%	7.8%	319	303
看護師	4,701	4,867	391.8	405.6	87.1%	88.2%	48.6%	49.9%	806	813
コ・メディカル	327	302	27.3	25.2	6.1%	5.5%	9.5%	9.1%	288	277
事務・その他	35	68	2.9	5.7	0.6%	1.2%	1.0%	2.0%	284	291
合計	5,398	5,519	449.8	459.9	100%	100%	26.5%	27.3%	1,697	1,684

※ 職員数は令和6年度の月平均現在員数

※ 提出率(%)=(職種ごとの1ヵ月当たりの提出件数)÷(職員数)

（3）インシデント報告の事象別内訳

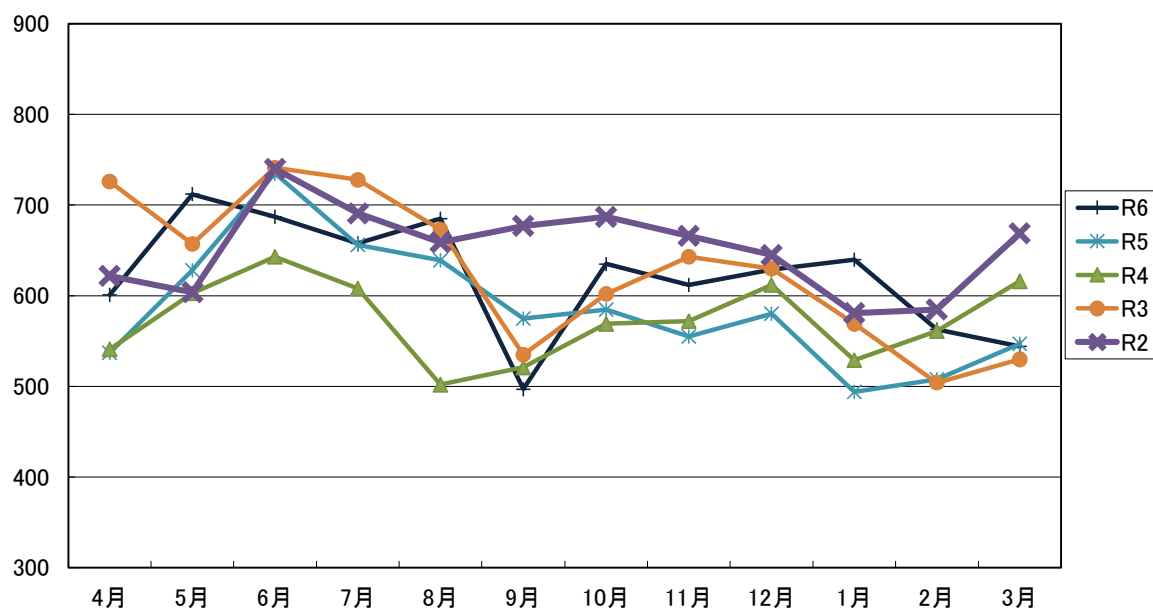
事象	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度
薬剤	1,720	1,741	143.3	145.1	31.9%	31.5%
輸血	46	41	3.8	3.4	0.9%	0.7%
治療・処置	186	224	15.5	18.7	3.4%	4.1%
医療機器等	186	248	15.5	20.7	3.4%	4.5%
ドレーン・チューブ	1,017	1,103	84.8	91.9	18.8%	20.0%
検査	356	375	29.7	31.3	6.6%	6.8%
療養上の世話	745	666	62.1	55.5	13.8%	12.1%
（うち転倒・転落）	562	490	46.8	40.8	10.4%	8.9%
その他	1,142	1,121	95.2	93.4	21.2%	20.3%
合計	5,398	5,519	449.8	459.9	100%	100%

（4）インシデント報告の場所別内訳

場所	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度
病室	3,448	3,454	287.3	287.8	63.9%	62.6%
病棟処置室	48	35	4.0	2.9	0.9%	0.6%
廊下	117	108	9.8	9.0	2.2%	2.0%
トイレ	95	113	7.9	9.4	1.8%	2.0%
浴室	14	11	1.2	0.9	0.3%	0.2%
外来診察室・処置室	157	167	13.1	13.9	2.9%	3.0%
外来待合室	21	19	1.8	1.6	0.4%	0.3%
手術室	439	512	36.6	42.7	8.1%	9.3%
検査室	294	300	24.5	25.0	5.4%	5.4%
訓練室	14	10	1.2	0.8	0.3%	0.2%
薬剤部	19	24	1.6	2.0	0.4%	0.4%
ナースステーション	335	365	27.9	30.4	6.2%	6.6%
その他	397	401	33.1	33.4	7.4%	7.3%
合計	5,398	5,519	449.8	459.9	100%	100%

2 センター病院

(1) インシデント報告の月別件数



(2) インシデント報告の職種別内訳と提出率

職種	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度	提出率	昨年度	職員数	昨年度
医師	375	363	31.3	30.3	5.0%	5.2%	6.6%	6.3%	476	479
看護師	6,200	5,878	516.7	489.8	83.1%	83.5%	57.9%	54.9%	892	893
コ・メディカル	692	623	57.7	51.9	9.3%	8.9%	23.8%	22.3%	242	233
事務・その他	196	175	16.3	14.6	2.6%	2.5%	21.7%	20.0%	75	73
合計	7,463	7,039	621.9	586.6	100%	100%	36.9%	35.0%	1,685	1,678

※ 職員数は令和6年度の月平均現在員数

※ 提出率(%)=(職種ごとの1ヵ月当たりの提出件数)÷(職員数)

(3) インシデント報告の事象別内訳

事象	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度
薬剤	2,529	2,371	210.8	197.6	33.9%	33.7%
輸血	51	44	4.3	3.7	0.7%	0.6%
治療・処置	310	286	25.8	23.8	4.2%	4.1%
医療機器等	266	319	22.2	26.6	3.6%	4.5%
ドレーン・チューブ	1,309	1,059	109.1	88.3	17.5%	15.0%
検査	577	564	48.1	47.0	7.7%	8.0%
療養上の世話	796	789	66.3	65.8	10.7%	11.2%
(うち転倒・転落)	573	555	47.8	46.3	7.7%	7.9%
その他	1,625	1,607	135.4	133.9	21.8%	22.8%
合計	7,463	7,039	621.9	586.6	100%	100%

(4) インシデント報告の場所別内訳

場所	件数	昨年度	月平均	昨年度	構成比	昨年度
病室	4,705	4,272	392.1	356.0	63.0%	60.7%
病棟処置室	38	34	3.2	2.8	0.5%	0.5%
廊下	99	117	8.3	9.8	1.3%	1.7%
トイレ	113	103	9.4	8.6	1.5%	1.5%
浴室	30	22	2.5	1.8	0.4%	0.3%
外来診察室・処置室	360	386	30.0	32.2	4.8%	5.5%
外来待合室	19	28	1.6	2.3	0.3%	0.4%
手術室	374	483	31.2	40.3	5.0%	6.9%
検査室	650	526	54.2	43.8	8.7%	7.5%
訓練室	34	26	2.8	2.2	0.5%	0.4%
薬剤部	92	103	7.7	8.6	1.2%	1.5%
ナースステーション	522	526	43.5	43.8	7.0%	7.5%
その他	427	413	35.6	34.4	5.7%	5.9%
合計	7,463	7,039	621.9	586.6	100%	100%

参 考 資 料

(令和 7 年 10 月 30 日)

I 医療安全管理体制	 1
II 安全管理対策委員会の活動状況	3
III リスクマネジャー会議活動状況	11
IV 安全管理研修の開催状況	16

I 医療安全管理体制

(1) 医療安全管理の組織体制

ア 統括安全管理者（医療安全管理責任者）

副病院長の内の1名を任命し、病院の医療安全を推進する統括者として位置付けています。

イ 安全管理指導者

統括安全管理者を補佐して、病院の医療安全管理の指導、改善命令、研修計画の策定、情報収集等を行う職として「安全管理指導者」（医師）を配置しています。

ウ 医療安全管理者（安全管理担当）

病院長、統括安全管理者、安全管理指導者等からの指示により、医療安全確保のための対策及び評価、診察状況の把握及び職員の医療安全に関する意識向上の状況確認、プロジェクトの推進等を行うため、各病院の医療安全管理部門〔附：医療安全管理部、セ：医療の質・安全管理部〕に担当を2名（看護師、薬剤師）配置しています。

エ 医薬品安全管理責任者

院内の医薬品に係る安全管理のための体制の確保に努めるとともに業務手順書の作成、研修の実施、業務手順書に基づいた業務の実施、医薬品情報の整理、周知及び周知状況の確認、未承認、適応外又は禁忌の使用の把握と必要性の検討の状況確認、必要に応じた指導及び結果の共有、未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等についての検討及び決定に関すること、未承認新規医薬品等が適正な手続きに基づいて使用されていたかについての、従業者の遵守状況の確認に関すること等を行っています。

オ 医療機器安全管理責任者

医療機器の使用に係る安全管理のための体制の確保に努めるとともに研修の実施、保守点検に関する計画の策定及び保守点検の適切な実施、医療機器情報の整理、周知及び周知状況の確認に関すること等を行っています。

カ 医療放射線安全管理責任者

診療用放射線の安全利用を確保するため、指針の策定、放射線診療に従事する者に対する研修の実施、診療放射線を受ける者の被ばく線量の管理と記録、改善策の実施、放射線の過剰被ばくやその他の診療放射線に係る事例への対応を行い、その結果を統括安全管理者（医療安全管理責任者）へ報告しています。

キ 高難度新規医療技術評価部長

高難度新規医療技術を実施するにあたり、当該高難度新規医療技術の実施の適否等について決定し、また、適正な手続きに基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に、及び術後に患者さんが死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認しています。

ク 未承認新規医薬品等評価部長

未承認新規医薬品等を使用するにあたり、当該未承認新規医薬品等の使用の適否等について決定し、また、適正な手続きに基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に、及び使用後に患者さんが死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認しています。

ケ リスクマネジャー

安全管理に関する職場点検の状況報告、改善報告、事故の対応及び報告、職員の教育及び指導、安全管理に関するプロジェクトへの参加等を行っています。

(2) 安全管理の推進のための委員会活動

ア 安全管理対策委員会

統括安全管理者を委員長とし、院内の安全管理対策の検討・推進を図るため、問題の原因究明のための調査及び分析、改善のための方策の立案及び実施と周知、方針の見直し等を行っています。

イ リスクマネジャー会議

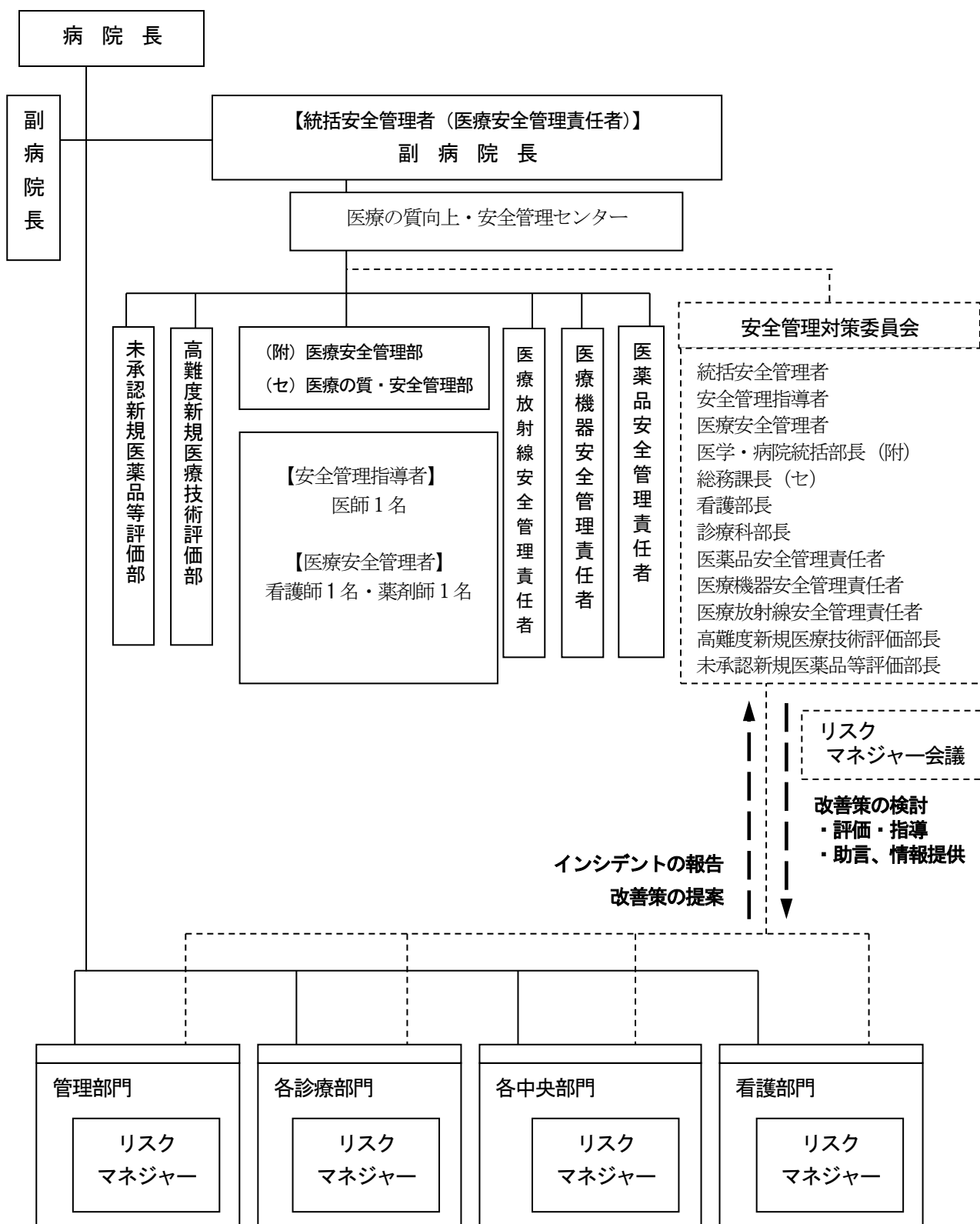
安全管理対策委員会の方針に基づき、医療安全上の検討や周知を図るとともに、インシデント報告の検討、各部署の安全管理の取組みの発表、討議及び情報の共有化を図り、各部署での医療安全管理を推進しています。

ウ インシデント報告システム

病院の日常業務の中で、医療事故につながりかねない「ヒヤリ、ハット」したできごと（インシデント）を医療従事者が自主的に報告し、その情報をもとに、事故を未然に防ぐための改善策を確立するシステムです。

報告は、各部門のリスクマネジャーから医療安全管理部門に報告され、安全管理対策委員会とリスクマネジャー会議を通じて改善策の検討と周知などを行っています。

横浜市立大学附属2病院 安全管理体制図



Ⅱ 安全管理対策委員会の活動状況（令和6年4月～令和7年3月）

1 附属病院

開催日		主な議題
第1回	4月22日	1 令和5年度第12回 安全管理対策委員会議事録について 2 令和6年度 医療の質向上・安全管理センターの体制 3 新任委員の紹介 4 医療安全に関する研修について 5 医療関連ニュースについて 6 院内医療事故会議報告 7 医薬品安全管理責任者からの報告事項 8 医療機器安全管理責任者からの報告事項 9 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 10 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 11 医療安全に資する診療内容のモニタリング 12 死亡患者報告 13 患者からの安全管理に関わる相談報告 14 医療安全情報 15 リスクマネジャー配布物について 16 医療安全マニュアル改正について 17 令和6年度診療報酬改定に係る院内マニュアルの策定方針について（意思決定支援） 18 令和6年度安全管理対策委員会名簿及び開催日程
第2回	5月27日	1 令和6年度第1回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 令和5年度インシデント報告集計 6 院内医療事故会議報告 7 医薬品安全管理責任者からの報告事項 8 医療機器安全管理責任者からの報告事項 9 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 10 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 11 医療安全に資する診療内容のモニタリング 12 死亡患者報告 13 患者からの安全管理に関わる相談報告 14 医療安全情報 15 リスクマネジャー配布物について 16 医療安全マニュアル改正について
第3回	6月24日	1 令和6年度第2回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 リスクマネジャーによる院内巡視について 15 リスクマネジャー配布物について 16 医療安全マニュアル改正について

開催日		主な議題
第4回	7月22日	1 令和6年度第3回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 「医療における安全文化に関する調査」実施について 15 リスクマネジャー配布物について 16 医療安全マニュアル改正について 17 外部監査日程
第5回	8月26日	1 令和6年度第4回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 「医療における安全文化に関する調査」実施について 15 リスクマネジャー配布物について 16 世界患者安全の日について 17 医療安全マニュアル改正について 18 外部監査日程
第6回	9月30日	1 令和6年度第5回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 リスクマネジャーによる院内巡視について 15 リスクマネジャー配布物について 16 横浜市立大学附属病院における医療安全管理に関する基本指針 改正について 17 医療安全マニュアル 改正について 18 【別冊】医療安全マニュアル改正について 19 外部監査日程

開催日		主な議題
第7回	10月28日	1 令和6年度第6回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 リスクマネジャー配布物について 15 医療安全マニュアル改正について 16 外部監査日程
第8回	11月25日	1 令和6年度第7回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 患者確認強化月間取組について 15 令和5年度附属2病院医療安全管理の取組及び一括公表事例について 16 医療における安全文化に関する調査 17 医療安全推進週間について 18 リスクマネジャー配布物について 19 医療安全マニュアル改正について 20 【別冊】医療安全マニュアル改正について 21 「医薬品の安全使用のための業務手順書」改正について
第9回	12月23日	1 令和6年度第8回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 患者確認強化月間取組について 15 リスクマネジャー配布物について

開催日		主な議題
第10回	1月27日	1 令和6年度第9回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 患者確認強化月間取組について 15 リスクマネジャー配布物について 16 医療安全マニュアル改正について 17 ポケット版医療安全マニュアル・職員の手引き改正について
第11回	2月17日	1 令和6年度第10回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 リスクマネジャー院内巡視結果について 15 リスクマネジャー配布物について 16 医療安全マニュアル改正について 17 【別冊】医療安全マニュアル改正について 18 ポケット版医療安全マニュアル・職員の手引き改正について
第12回	3月24日	1 令和6年度第11回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 院内医療事故会議報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 医療放射線安全管理責任者からの報告事項 9 高難度新規医療技術評価／未承認新規医薬品等評価部からの報告事項 10 医療安全に資する診療内容のモニタリング 11 死亡患者報告 12 患者からの安全管理に関わる相談報告 13 医療安全情報 14 リスクマネジャー配布物について 15 臨床研修医CVC穿刺資格の共通化について 16 次年度以降の医療安全講演会について 17 横浜市立大学附属病院における医療安全に関する基本指針改正について 18 医療安全マニュアル改正について 19 【別冊】医療安全マニュアル改正について

2 センター病院

開催日		主な議題
第1回 (第288回)	4月8日	- 令和6年度 委員名簿 - 令和6年度 委員会スケジュール - 前回議事録確認 - 医療関連ニュース(令和6年3月4日～3月29日分) - RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 - リエゾンチーム報告 - 医薬品・医療機器安全管理責任者連絡調整会議報告 - 患者サポート担当報告 - 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 - 医療放射線安全管理委員会報告 - 医療安全モニタリング指標報告 - 死亡退院・死亡レビュー報告 2023年度e-learning実施状況(100%受講達成) - 医療安全指針・医療安全マニュアル[第16版]／安全ポッケ[第7版]の発行 - 緊急連絡先等患者情報の患者基本への集約について - RRT活動(ドクターコール検証含む)報告 3b以上の事例報告 【審議事項】 ・医療安全マニュアル「5 医療安全における確認」の改定(案)
第2回 (第289回)	5月13日	- 前回議事録確認 - 医療関連ニュース(令和6年4月1日～4月26日分) - RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 - リエゾンチーム報告 - 医薬品・医療機器安全管理責任者連絡調整会議報告 - 患者サポート担当報告 - 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 - 医療安全モニタリング指標報告 - 救急カートの薬剤と施錠について - 医療安全マニュアル「5 医療安全における確認」改訂 - RRT活動(ドクターコール検証含む)報告 3b以上の事例報告 【審議事項】 ・鎮静マニュアル改定について
第3回 (第290回)	6月17日	- 前回議事録確認 - 令和6年度6月 委員の就任挨拶/委員名簿 - 令和6年度 委員会スケジュール/出欠確認 - 前回議事録確認 - 医療関連ニュース(令和6年4月30日～5月31日分) - RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 - リエゾンチーム報告 - 医薬品・医療機器安全管理責任者連絡調整会議報告 - 患者サポート担当報告 - 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 - 医療安全モニタリング指標報告 - RRT活動(ドクターコール検証含む)報告 3b以上の事例報告 【審議事項】 ・医療安全マニュアル「6.指示の原則と運用」改訂
第4回 (第291回)	7月8日	- 前回議事録確認 - 令和6年度 委員会スケジュール/出欠確認 - 医療関連ニュース(令和6年6月3日～6月28日分) - RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 - リエゾンチーム報告 - 医薬品・医療機器安全管理責任者連絡調整会議報告 - 患者サポート担当報告 - 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 - 医療安全モニタリング指標報告 - 医療安全講演会 アンケート集計結果報告 - RRT活動(ドクターコール検証含む)報告 3b以上の事例報告 【審議事項】 ・鎮静マニュアル改定について

開催日		主な議題
第5回 (第292回)	8月5日	1 前回議事録確認 2 令和6年度 委員会スケジュール/出欠確認 3 医療関連ニュース(令和6年7月1日～7月26日分) 4 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 5 リエゾンチーム報告 6 医薬品・医療機器安全管理責任者連絡調整会議報告 7 患者サポート担当報告 8 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 9 医療安全モニタリング指標報告 10 令和6年度世界患者安全の日イベントについて 11 RRT活動(ドクターコール検証含む)報告 12 3b以上の事例報告 13 【審議事項】 ・病理診断レポートの未読に関するインシデント対策について ・医療安全マニュアル「5 医療安全における確認」改訂について ・鎮静マニュアル改定について ・医薬品安全使用のための業務手順書の改定について
第6回 (第293回)	9月9日	1 前回議事録確認 2 令和6年度 委員会スケジュール/出欠確認 3 医療関連ニュース(令和6年7月29日～8月30日分) 4 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 5 リエゾンチーム報告 6 医薬品・医療機器安全管理責任者連絡調整会議報告 7 患者サポート担当報告 8 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 9 医療安全モニタリング指標報告 10 RRT活動(ドクターコール検証含む)報告 11 死亡報告・3b以上の事例報告 12 【審議事項】 ・[転倒・転落予防のために]書式変更および 医療安全マニュアル「16 転棟・転落防止と対応」内容変更について ・認知症ケアチーム(仮称)(身体拘束最少化チーム含む)立ち上げについて
第7回 (第294回)	10月7日	1 前回議事録確認 2 令和6年度 委員会スケジュール/出欠確認 3 医療関連ニュース(令和6年9月2日～9月27日分) 4 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 5 リエゾンチーム報告 6 医薬品・医療機器安全管理責任者連絡調整会議報告 7 患者サポート担当報告 8 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 9 医療安全モニタリング指標報告 10 RRT活動(ドクターコール検証含む)報告 11 死亡報告・3b以上の事例報告 12 【審議事項】 ・CVC挿入指導者研修開催について ・小児鎮静マニュアル改定について
第8回 (第295回)	11月11日	1 前回議事録確認 2 令和6年度 委員会スケジュール/出欠確認 3 医療関連ニュース(令和6年9月30日～11月1日分) 4 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 5 リエゾンチーム報告 6 医薬品・医療機器安全管理責任者連絡調整会議報告 7 患者サポート担当報告 8 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 9 放射線の安全利用の基礎e-Learning 受講状況報告 10 医療安全モニタリング指標報告 11 リスクマネジャー・安全管理対策委員による安全巡回の実施について 12 令和6年度 医療における安全文化に関する調査の実施について 13 周術期肺塞栓症対策マニュアル 一部改訂について 14 RRT活動(ドクターコール検証含む)報告 15 死亡報告・3b以上の事例報告

開催日		主な議題
第9回 (第296回)	12月9日	1 前回議事録確認 2 令和6年度 委員会スケジュール/出欠確認 3 医療関連ニュース(令和6年11月5日～11月29日分) 4 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 5 リエゾンチーム報告 6 医薬品・医療機器安全管理責任者連絡調整会議報告 7 患者サポート担当報告 8 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 9 「医薬品の安全使用のための+D152業務手順書(14版)」遵守状況 確認結果 10 医療放射線安全管理委員会報告 11 医療安全モニタリング指標報告 12 「医薬品の安全使用のための業務手順書(14版)」遵守状況 確認結果 13 安全管理地域連携相互チェック 実施報告 14 RRT活動(ドクターコール検証含む)報告 15 死亡報告・3b以上の事例報告 16 【審議事項】 ・「医薬品の安全使用のための業務手順書」改訂 ・「病理・画像診断報告書確認サポートチーム 要綱」策定について
第10回 (第297回)	1月20日	1 前回議事録確認 2 令和6年度 委員会スケジュール/出欠確認 3 医療関連ニュース(令和6年12月2日～1月10日分) 4 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 5 リエゾンチーム報告 6 医薬品・医療機器安全管理責任者連絡調整会議報告 7 患者サポート担当報告 8 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 9 放射線の安全利用の基礎e-learning受講状況報告 10 医薬品安全に関するe-learning受講について 11 病理・画像診断報告書確認サポートチーム カンファレンス報告 12 医療安全モニタリング指標報告 13 鎮静マニュアル:標準モニタリング改定 14 RRT活動(ドクターコール検証含む)報告 15 死亡報告・3b以上の事例報告 16 【審議事項】 ・安全管理対策委員会要綱改定(JMIP受審を見据えて) ・鎮静マニュアル:整形外科プロトコルの新規申請
第11回 (第298回)	2月10日	1 令和7年度 安全管理対策委員会 & RM会議 スケジュール 2 前回議事録確認 3 令和6年度 委員会スケジュール/出欠確認 4 医療関連ニュース(令和7年1月14日～1月31日分) 5 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 6 リエゾンチーム報告 7 医薬品・医療機器安全管理責任者連絡調整会議報告 8 患者サポート担当報告 9 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 10 放射線の安全利用の基礎e-learning受講状況報告 11 医療安全モニタリング指標報告 12 RRT活動(ドクターコール検証含む)報告 13 死亡報告・3b以上の事例報告 14 【審議事項】 ・鎮静マニュアル「各診療科プロトコル」の新規申請・更新について ・内服薬と薬時手順の医療安全マニュアル掲載について

開催日		主な議題
第12回 (第299回)	3月10日	1 前回議事録確認 2 令和6年度 委員会スケジュール/出欠確認 3 医療関連ニュース(令和7年2月3日～2月28日分) 4 RST(レスピラトリー・サポート・チーム)報告 5 リエゾンチーム報告 6 医薬品・医療機器安全管理責任者連絡調整会議報告 7 患者サポート担当報告 8 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価部報告 9 放射線の安全利用の基礎e-learning受講状況報告 10 病理・画像診断報告書確認サポートチーム カンファレンス報告 11 医療安全モニタリング指標報告 12 RRT活動(ドクターコール検証含む)報告 13 死亡報告・3b以上の事例報告 14 令和6 年度第3 回医療安全講演会アンケート結果 15 リスクマネジャー等による安全管理巡回結果(病棟) 16 内服薬与薬時手順の医療安全マニュアル掲載について 17 病棟における電子カルテ・PDA の電波状況調査の結果報告 18 【審議事項】 ・医療安全管理指針の改訂

Ⅲ リスクマネジャー会議活動状況（令和6年4月～令和7年3月）

1 附属病院

開催日		主な議題
第1回	4月8日	1 令和5年度第11回リスクマネジャー会議議事録について 2 令和6年度医療の質向上・安全管理センターの体制 3 新任リスクマネジャーの紹介 4 医療安全に関する研修について 5 医療関連ニュースについて 6 事例報告 7 薬剤疑義照会事例 8 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 9 医療安全情報 10 リスクマネジャー院内巡視（後期）結果について 11 医療安全に関する部門内業務改善計画書について 12 医療安全マニュアルに定める年度始めの提出書類について 13 自殺対策マニュアル策定 14 ポケット版医療安全マニュアル・職員の手引きについて 15 令和6年度リスクマネジャー会議日程及び名簿 16 リスクマネジャーの役割について
第2回	5月13日	1 令和6年度第1回リスクマネジャー会議議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 令和5年度インシデント報告集計結果について 7 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 8 医療安全情報 9 医療安全マニュアル改正について 10 救急カート内の診療材料・薬剤の変更について 11 特定薬剤治療管理料について 12 チーム患者一覧機能の改修について 13 各種未提出書類について
第3回	6月3日	1 令和6年度第2回リスクマネジャー会議議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医薬品の安全使用のための業務手順書に基づく業務の実施について 7 医療安全に資する診療内容のモニタリング結果 8 医療安全情報 9 医療安全マニュアル改正について 10 各種未提出書類について 11 厚生労働省「死亡診断書記入マニュアル」の変更点
第4回	7月1日	1 令和6年度第3回リスクマネジャー会議議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医療安全に資する診療内容のモニタリング 7 医療安全情報 8 日本医療機能評価機構への報告テーマの変更 9 リスクマネジャーによる院内巡視（前期）について 10 医療安全マニュアル改正について 11 各種未提出書類について 12 周術期関連付箋の記載について〔薬剤部〕 13 院内医療安全情報 No. 24001
第5回	9月2日	1 令和6年度第4回リスクマネジャー会議議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 「医薬品の安全使用のための業務手順書」について 7 医療安全に資する診療内容のモニタリング 8 医療安全情報 9 世界患者安全の日について 10 令和6年度医療安全対策に関する部門内業務改善計画書 中間評価について 11 「医療における安全文化に関する調査」実施について 12 医療安全マニュアル改正について 13 各種未提出書類について 14 立入検査

開催日		主な議題
第6回	10月7日	1 令和6年度第5回リスクマネジャー会議議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医療安全に資する診療内容のモニタリング 7 医療安全情報 8 令和6年度医療安全対策に関する部門内業務改善計画書 中間評価について 9 リスクマネジャーによる院内巡視について 10 横浜市立大学附属病院における医療安全管理に関する基本指針改正について 11 医療安全マニュアル改正について 12 【別冊】医療安全マニュアル改正について 13 各種未提出書類について 14 立入検査 15 麻酔科依頼方法の周知について 16 外部監査等日程
第7回	11月11日	1 令和6年度第6回リスクマネジャー会議議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医療安全に資する診療内容のモニタリング 7 医療安全情報 8 医療安全マニュアル改正について 9 各種未提出書類について 10 ポケット版医療安全マニュアル更新依頼について
第8回	12月2日	1 令和6年度第7回リスクマネジャー会議議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 造影剤のインシデントに関する対策のご報告 5 事例報告 6 薬剤疑義照会事例 7 医療安全に資する診療内容のモニタリング 8 医療安全情報 9 患者確認強化月間取組 10 令和5年度附属2病院医療安全管理の取組および一括公表事例について 11 医療安全推進週間について 12 医療における安全文化に関する調査 13 医療安全マニュアル改正について 14 【別冊】医療安全マニュアル改正について 15 「医薬品の安全使用のための業務手順書」改正について 16 「医薬品の安全使用のための業務手順書」に基づく実施状況の確認 17 各種未提出書類について
第9回	1月20日	1 令和6年度第8回リスクマネジャー会議議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医療安全に資する診療内容のモニタリング 7 医療安全情報 8 患者確認強化月間取組 9 医療安全対策に関する業務改善計画書総括について 10 医療安全マニュアル改正について 11 各種未提出書類について 12 病理解剖の年次推移
第10回	2月3日	1 令和6年度第9回リスクマネジャー会議議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 医療安全に資する診療内容のモニタリング 7 医療安全情報 8 医療安全マニュアル改正について 9 医療安全対策に関する業務改善計画書総括について 10 各種未提出書類について

開催日		主な議題
第11回	3月3日	1 令和6年度第9回リスクマネジャー会議議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 「医薬品の安全使用のための業務手順書」に基づく実施状況の確認及び報告書の提出について 7 医療安全に資する診療内容のモニタリング 8 医療安全情報 9 院内巡視（後期）結果について 10 医療安全マニュアル改正について 11 ポケット版医療安全マニュアル・職員の手引き改正について 12 各種未提出書類について

2 センター病院

開催日		主な議題
第1回 (第264回)	4月22日	1 令和6年度リスクマネジャー名簿 及び 開催日程 2 委嘱状の交付(代表者)、及び、統括安全管理者からリスクマネジャーへのメッセージ 3 前回議事録確認 4 医療関連ニュース(令和6年3月4日～3月29日分) 5 医療安全モニタリング指標報告 6 死亡退院・死亡レビュー報告 7 再)新任職員への医療安全に関するオリエンテーションの実施の依頼 8 個別面談と業務改善計画書の提出について 9 緊急連絡先等患者情報の患者基本への集約について 10 医療安全マニュアルの一部差替えのお願い 11 ME機器の点検表の提出について 12 [教育講演]リスクマネジャーの役割(安全管理指導者:中村) 13 [医療安全研修案内等] 14 [グループワーク] グループワークの進め方、グループワーク希望表
第2回 (第265回)	5月20日	1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和6年4月1日～4月26日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 リスクマネジャー向けe-learning(部門内周知状況4月分) 5 救急カートにおける向精神薬の搭載廃止について 6 医療安全マニュアル「5.医療安全における確認」改訂 7 検査・処置等における鎮静マニュアル改訂について 8 心肺蘇生法講習会実施について(心肺蘇生講習会チーム) 9 [医療安全研修案内等] 10 [グループワーク] リスクマネジャー会議でのグループワークの進め方
第3回 (第266回)	6月24日	1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和6年4月30日～5月31日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 リスクマネジャー向けe-Learning(部門内周知状況5月分) 5 TPNの全病棟拡大について 6 医療安全マニュアル「6.指示の原則と運用」改訂 7 [医療安全研修案内等] 8 [グループワーク]
第4回 (第267回)	7月24日	1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和6年6月3日～6月28日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 リスクマネジャー向けe-learning(部門内周知状況6月分) 5 心肺蘇生講習会について 6 リスクマネジャー会議 ペーパーレス化について 7 [医療安全研修案内等] 8 [グループワーク]
第5回 (第268回)	9月30日	1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和6年7月29日～8月30日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 長期収載品の選定療養費制度開始に伴う院内対応について 5 [転倒・転落予防のために]書式変更および医療安全マニュアル「16 転倒・転落防止と対応」内容変更について 6 鎮静マニュアル改定について 7 医療安全マニュアル「5 医療安全における確認」改定について 8 [医療安全研修案内等] 9 [グループワーク]
第6回 (第269回)	10月21日	1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和6年9月2日～9月27日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 「医薬品安全使用のための業務手順書」遵守状況確認の実施について 5 [医療安全研修案内等] 6 [グループワーク]

開催日		主な議題
第7回 (第270回)	11月18日	1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和6年9月30日～11月1日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 令和6年度 安全巡回の実施について 5 医療安全文化調査のお願い 6 周術期肺塞栓症対策マニュアルの改定について 7 中心静脈カテーテル挿入指導者研修会のお知らせ 8 [医療安全研修案内等] 9 [グループワーク]
第8回 (第271回)	12月16日	1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和6年11月5日～11月29日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 5 医療における安全文化に関する調査 調査票配布数の把握について 6 放射線の安全利用の基礎e-learning受講状況報告 7 搬送用人工呼吸器Oxylog3000plusの運用変更について 8 「医薬品の安全使用のための業務手順書」遵守状況 確認結果 9 「医薬品の安全使用のための業務手順書」改訂について 10 病理・画像診断報告書確認サポートチーム発足について 11 リスクマネジャー向けe-learning(部門内周知状況4.11月分) 12 [医療安全研修案内等] 13 [グループワーク]
第9回 (第272回)	1月27日	1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和6年12月5日～令和7年1月10日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 看護部安全委員会より 安全相互ラウンド結果 5 事例共有 6 医療安全に関する法定研修e-Learning受講状況報告 7 放射線の安全利用の基礎e-Learning受講状況報告 8 医薬品安全に関するe-Learning受講について 9 リスクマネジャー向けe-Learning(部門内周知状況4.12月分) 10 [医療安全研修案内等] 11 [グループワーク報告会]
第10回 (第273回)	2月17日	1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和7年1月14日～令和7年1月31日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 医療安全に関する法定研修e-learning受講状況報告 5 放射線の安全利用の基礎e-learning受講状況報告 6 リスクマネジャー向けe-learning(部門内周知状況4.12月分) 7 鎮静プロトコルの申請方法/新規申請書 8 「医療安全確保のための業務改善計画書」の評価・引継ぎのお願い及びリスクマネジャー選任のお願い 9 令和7年度 令和7年度安全管理対策委員会&リスクマネジャー会議開催予定 10 [医療安全研修案内等] 11 [グループワーク報告会]
第11回 (第274回)	3月17日	1 前回議事録確認 2 医療関連ニュース(令和7年2月3日～令和7年2月28日分) 3 医療安全モニタリング指標報告 4 医療安全に関する法定研修e-learning受講状況報告 5 リスクマネジャー向けe-learning(部門内周知状況4月～2月分) 6 安全管理指針の改定について 7 内服与薬時の確認手順について 8 トイレでの転倒防止啓発ポスター掲示のお願い 9 診療科部長・中央部門長・RMとの面談の実施について 10 令和6年度 RMIによる安全管理巡回の実施報告 11 「医療安全確保のための業務改善計画書」の評価・引継ぎのお願い及びリスクマネジャー選任のお願い 12 令和7年度 リスクマネジャー会議開催予定 13 パワーPICCについて 14 [医療安全研修案内等]

Ⅳ 安全管理研修の開催状況(令和6年4月～令和7年3月)

1 附属病院

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新入職者研修	4月1日～3月31日	新採用・転入者	198人	各コンテンツ0.5～1.0時間	・医療安全について ・感染対策 ・医療機器総論 ・医薬品の安全管理 ・放射線診療における医療安全 ・手術における医療安全 ・コンプライアンス ・個人情報保護について ・臨床倫理について ・診療記録の記載について ・特定機能病院と地域連携について ・保険医療機関の義務について ・患者対応 ・接遇 ・患者の権利について ・附属病院の組織 ・労務 ・ハラスメント対策について ・臨床研究について ・研修医の指導について
復職者研修	4月1日～3月31日 (e-Learning)	復職者	16人	各コンテンツ0.5～1.0時間	・医療安全について ・感染対策について ・医療機器総論 ・医薬品の安全管理 ・手術における医療安全 ・コンプライアンス・個人情報保護について ・臨床倫理について ・診療記録の記載について ・附属病院の組織・労務管理・ハラスメントについて
令和6年度第1回医療安全講演会	4月1日～4月30日 (e-Learning)	新採用・転入者必須全職員	1340人	1.0時間	当院で起きた医療事故と、医療安全の取り組みを振り返る
令和6年度第2回医療安全講演会	7月16日～3月31日 (e-Learning)	全職員	1940人	1.0時間	・がん化学療法 ・医療安全の歴史から理解する基本知識(前編)
令和6年度第3回医療安全講演会	7月23日～3月31日 (e-Learning)	全職員	1940人	1.0時間	・高難度新規医療技術/未承認新規医薬品等の評価における院内体制について ・医療安全の歴史から理解する基本知識(後編) ・病院長メッセージ
令和6年度第4回医療安全講演会	12月26日～3月31日 (e-Learning)	全職員	1718人	1.0時間	・診療用放射線安全利用のための研修 ・薬剤の誤投与/過量投与発生時の対応 ・医療における安全文化に関する調査
TeamSTEPPS研修	9月19日 10月4日 12月11日	全職員	78人 75人 78人	1.5時間	参加型医療安全研修
中心静脈カテーテル講習会	5月7日 6月12日	医師、研修医、 特定行為認定看護師	29人 24人	1.0時間	講義、シミュレーターを使用した実技演習
放射線部新採用職員医療安全研修	4月3日	新採用職員	4人	1.0時間	患者確認方法、インシデント、ドクターコール、感染対策等、放射線部内で運用されている事項の研修
部内コール訓練	5月22日	新採用職員	8人	.5時間	部内コールのかけ方、ストレッチャーやAEDの場所等確認
感染対策・手洗い講習	6月18日	新採用職員 放射線部職員	10人	1.0時間	感染対策方法(ガウンテクニックと手洗い方法等について)
危険予知トレーニング	7月2日	新採用職員	8人	1.0時間	安全確認ポイントの確認。新採用職員のヒヤリハット事例紹介

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
MR磁場体験	7月23日	看護師 事務職員	17人	1.0時間	MR検査室内の強力な磁場を体験し、患者の安全を確保する
	11月6日	診療放射線技師 他	13人		
急変時対応訓練	11月7日	医師・看護師・ 診療放射線技師	15人	1.0時間	CT検査室における患者急変時対応訓練
感染対策講習	11月28日	新採用職員 放射線部職員	10人	1.0時間	感染対策方法
急変時対応訓練	12月24日	医師・看護師・ 診療放射線技師	15人	1.0時間	アブレーション時における患者急変時対応訓練
災害時避難訓練 患者急変時訓練	3月7日	医師・看護師・ 診療放射線技師	15人	1.0時間	PCIにおける急変時訓練(ECMO導入)
危険予知トレーニング	3月17日	診療放射線技師	18人	1.0時間	インシデントKYTグループワーク
RI規制法に係る業務 従事者の教育訓練	10月1日～1月31日 (e-Learning)	RI・治療・小線源 治療室において 放射線取扱業務 に従事する者	88人	1.0時間	放射性同位元素を安全に使用するための知識・安全講習
特定放射性同位元素 防護 従事者のための 教育訓練(継続者対 象)	1月6日～1月31日 (e-Learning)	特定放射性同位 元素に関する従 事者	15人	2.0時間	特定放射性同位元素を安全に使用するための知識・医療安全演習
急変時対応訓練	3月27日	診療放射線技師	10人	1.0時間	一般撮影室における患者急変時対応訓練
補助循環装置 定期研修第1回	6月1日～9月26日 (e-Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	198人	e-Learning/ 資料配布	IABP装置CARDIO SAVE概要、取り扱い説明、トラブルシューティング
補助循環装置 定期研修第2回	10月1日～1月5日 (e-Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	192人	e-Learning/ 資料配布	ECMOについて VA-ECMOとVV-ECMOについて トラブルシューティング
人工呼吸器 定期研修第1回	6月1日～9月26日 (e-Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	209人	e-Learning/ 資料配布	成人:Hamilton T1概要 取り扱い説明 小児・新生児:NAVA(神経調節補助換気)モードについて 取り扱い説明
人工呼吸器 定期研修第2回	10月1日～1月5日 (e-Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	202人	e-Learning	成人:NPPVについて 装置・回路・マスクの説明 Hamilton T1 取り扱い説明 小児・新生児:HAMILTON-C6概要 取り扱い説明
血液浄化装置 定期研修第1回	6月1日～9月26日 (e-Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	188人	e-Learning/ 資料配布	HD原理、トラブルシューティング
血液浄化装置 定期研修第2回	10月1日～1月5日 (e-Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	185人	e-Learning	CHDFの原理、TR-2020と55Xシリーズの違い
除細動器 定期研修第1回	6月1日～9月26日 (e-Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	254人	e-Learning/ 資料配布	除細動器概要 各機種取り扱い説明 トラブルシューティング
除細動器 定期研修第2回	10月1日～1月5日 (e-Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	245人	e-Learning/ 資料配布	除細動器概要 取り扱い説明 トラブルシューティング
閉鎖式保育器 定期研修第1回	6月1日～9月26日 (e-Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	81人	e-Learning/ 資料配布	閉鎖式保育器概要 取り扱い説明 トラブルシューティング
閉鎖式保育器 定期研修第2回	10月1日～1月5日 (e-Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	79人	e-Learning	閉鎖式保育器概要 取り扱い説明 トラブルシューティング
麻酔器 定期研修第1回	6月1日～9月26日 (e-Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	64人	e-Learning	Drager Atlan概要 取り扱い説明 インシデント事例共有
麻酔器 定期研修第2回	10月1日～1月5日 (e-Learning)	医師 看護師 臨床工学技士	64人	e-Learning	取り扱い説明 インシデント事例共有

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
研修医 オリエンテーション	4月2日	研修医	68人	60分	麻薬の取り扱いについて
血管確保研修	9月2日	看護師	65人	40分	薬剤の基礎知識と管理
血管確保研修	9月9日	看護師	65人	40分	薬剤の基礎知識と管理
オリエンテーション	4月3日	新人 看護職員	71人	7.5時間	横浜市立大学附属病院の看護職として自覚し、自立に向けた1年間をイメージすることができる
社会人基礎力	4月3日	新人 看護職員	71人	4.3時間	社会人基礎力の向上を図るとともに、看護職としての自覚をもつことができる
	4月4日		71人		
ジョブトレーニング	4月8日～9日	新人 看護職員	71人	45時間	看護の専門職として責任をもって働くことや、その業務内容、領域の特性などを知る
	4月15～18日		71人		
酸素療法・吸引、臥床 患者の更衣、 滅菌物の取り扱い	4月12日	新人 看護職員	69人	7.5時間	【酸素療法】酸素療法の基本的知識を学ぶ 【吸引】吸引に必要な基本的知識を学ぶ 【臥床患者の更衣】寝衣交換の目的・手順を知り、経験できる 【滅菌物の取り扱い】 1. 標準予防策に必要な基礎知識と技術を習得する 2. 膀胱留置カテーテル挿入時・留置中の感染対策を学ぶ
	4月13日		69人		
輸液、フィジカルイグザ ミネーション	4月12日	新人 看護職員	69人	7.5時間	【輸液】 輸液管理に必要な基礎知識を学び、輸液管理の一連の技術と流れを知る 【フィジカルイグザミネーション】 フィジカルアセスメントの基礎を学び、根拠に基づいた情報収集から、観察する要点を学ぶ
	4月13日		69人		
身体拘束、重症度、医 療・看護必要度、食事 介助、輸血、BLS、災 害看護	4月30日	新人 看護職員	71人	7.5時間	【身体拘束】 行動制限の基礎知識を学び、当院の基準に沿った身体抑制の実施と管理について知る 【食事介助】 嚥下のメカニズムを学び、基本となる食事介助方法や窒息時の対応方法がわかる 【輸血】 輸血療法の目的、輸血用血液製剤の特徴や管理方法を学び、安全な輸血手順を知る 【BLS】 心肺蘇生時に適切な心肺蘇生を行うことができる 【災害看護】 災害看護の基本と災害時の当院の役割がわかる
	5月1日		71人		
ハイリスク薬	5月16日	新人 看護職員	70人	1.0時間	ハイリスク薬をはじめとする、管理に注意が必要な薬剤について知る
静脈血採血	5月16日	新人 看護職員	70人	3.5時間	静脈血採血のイメージができる
周術期看護、 フィジカル入門	6月12日	新人 看護職員	69人	4.5時間	【周術期看護】 手術を受ける患者が安全に周術期を過ごすための看護を知る 【フィジカル入門(バイタルサイン測定の基本)】 バイタルサインの基本を再学習し、患者の状態変化を見る視点を学ぶ
	6月24日		69人		
フィジカル入門、 タイムマネジメント	7月8日	新人 看護職員	67人	4.0時間	【フィジカル入門(呼吸・循環・中枢)】 バイタルサインの基本を再学習し、患者の状態変化を見る視点を学ぶ 【タイムマネジメント】 安全で効率的なケアを提供するための時間管理について学ぶ
	7月17日		67人		
静脈注射 (血管確保)	9月2日	新人 看護職員	65人	3.5時間	静脈注射(血管確保)の知識と技術を学ぶ
	9月9日		65人		

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
がん薬物療法 看護基礎	8月5日	新人 看護職員	65人	1.0時間	当院におけるがん看護に必要な基礎知識「がん薬物療法 の投与管理」を学ぶ
	8月23日		65人		
放射線療法看護、 リスクアセスメント	10月2日	新人 看護職員	66人	3.8時間	【放射線療法看護】がん看護に必要な基礎知識(放射線 診断・放射線療法オリエンテーション)について学ぶ 【リスクアセスメント】看護実践場面に潜むリスクの視点を 養う
	10月7日		66人		
中心静脈カテーテル 管理	12月9日	新人 看護職員	67人	3.8時間	中心静脈カテーテル挿入と管理マニュアル(Ver.9.3)に 沿ったCVCの管理ができる
	12月16日		67人		
針刺し防止	4月8日	新人 看護職員	71人	1.0時間	針刺し防止策と発生時の対応を理解する
	7月8日		67人		
	7月17日		67人		
	9月2日		65人		
	9月9日		65人	45分	
フィジカルアセスメント Ⅰ (3回シリーズ)	7月3日	2年目 看護職員	56人	1.8時間	バイタルサインと患者の身体的側面を合わせ、症状・徴 候を評価できる
	7月10日		54人	2.0時間	
	9月4日		53人	2.0時間	
	9月19日				
	11月18日 11月25日				
2年目ナースの 急変予兆	7月3日	2年目 看護職員	56人	2.5時間	ベッドサイドの急変対応がイメージでき、根拠に基づいた 蘇生行為が行える
	7月10日		56人		
2年目ナースの 医療安全Ⅰ	5月15日	2年目 看護職員	55人	1.5時間	1. 診療補助における法律や責任を知る 2. 「指示だし・指示受け」の場面で確認するポイントを知 る
	5月20日		55人		
2年目ナースの 医療安全Ⅱ	2月5日	2年目 看護職員	51人	2.0時間	1. 医療安全の視点から日常の看護実践を振り返る 2. 院内のインシデントの傾向を知る 3. 院内のマニュアルや看護技術手順(ナースングスキル 等)の医療安全に関するポイントを確認する
	2月12日		51人		
【2023年度延期分】 医療と安全Ⅱ	4月22日	3年目 看護職員	48人	2.0時間	1. 院内のインシデントの傾向を知る 2. 院内のマニュアルや看護技術手順(ナースングスキル 等)の医療安全に関するポイントを確認する 3. ペアで安全に看護業務を行うための具体的方法を考 える
	4月26日		48人		
フィジカルアセスメント Ⅱ	6月3日	キャリアラダーⅠ ～Ⅱ	81人	2.5時間	患者の徴候や症状から意図的な情報収集を行い、患者 の病態変化を判断し、根拠に基づく看護を考えることが できる
	8月8日		81人		
急変対応	8月7日	キャリアラダーⅠ ～Ⅱ	23人	3.0時間	効果的なチームダイナミクスを発揮し、急変時対応が行 える
	10月30日		31人	3.5時間	
リーダーナースの 急変予兆	11月13日	キャリアラダーⅠ ～Ⅱ	33人	3.3時間	急変に結びつく危険な徴候に気付き、迅速な対応ができ る
達人ナースの 急変予兆	12月23日	キャリアラダーⅡ ～Ⅲ	6人	2.0時間	臨床推論のプロセスを知り、看護実践で迅速・的確な判 断に活用できる
周術期の看護	6月5日	全看護職員	11人	1.0時間	周術期における術前・術中・術後の看護について学ぶ
人工呼吸器セミナー	7月19日	全看護職員	13人	1.0時間	1.人工呼吸器の回路組立から始業点検完了まで 2.設定内容の確認と変更 3.人工呼吸管理中のディスプレイ表示内容の理解
	9月20日		13人		

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
BLS技術更新	8月9日	全看護職員	404人	40分	心肺停止時に適切な心肺蘇生を行うことができる
	8月23日				
	9月13日				
	9月27日				
	10月11日				
	10月18日				
	11月7日				
	11月8日				
	11月12日				
	11月15日				
	11月25日				
	11月27日				
	12月13日				
	12月27日				
	1月10日				
	1月20日				
	1月24日				
	3月3日				
	3月12日				
CVC管理認定研修	10月1日	全看護職員	266人	2.0時間	中心静脈カテーテル挿入と管理マニュアル(Ver.9.3)に沿ったCVCの管理ができる
	10月28日				
	11月5日				
	11月28日				
	12月3日				
	12月26日				
CVポート管理研修 (更新登録)	部署毎	キャリアラダーⅡ～Ⅴ	9人	部署毎	CVポート管理の基本的知識を復習し、穿刺・抜針の技術を再確認する
CVポート管理研修 (初回登録)	9月17日	キャリアラダーⅡ～Ⅴ	24人	2.0時間	CVポート管理の基本的知識と穿刺・抜針の技術を習得する
【地域公開】人工呼吸器管理Ⅰ	8月29日	キャリアラダーⅠ～Ⅲ	9人	3.5時間	人工呼吸管理の基本的知識と管理を学び、必要な看護ケアを考えることができる
【地域公開】災害看護	1月16日	全看護職員	18人	3.5時間	災害時の地域特性を理解し、医療施設で働く看護職としての初期対応がわかる
【特定行為】 ポータブルエコーを看護実践に活かそう!!	7月17日	認定看護師 専門看護師	26人	1.0時間	ポータブルエコーの使い方がわかり、日々の看護実践に活用できる
	7月24日	特定行為研修修了者	26人		
【オンデマンド】 がん化学療法の看護	11月21日	全看護職員	10人	1.0時間	がん看護に関する知識を習得し、臨床に活用することができる
【オンデマンド】 抗がん剤	11月21日	全看護職員	15人	1.0時間	がん看護に関する知識を習得し、臨床に活用することができる
	1月9日		15人		
【オンデマンド】 呼吸困難	12月17日	全看護職員	4人	1.0時間	呼吸困難の鑑別疾患について学ぶ
【オンデマンド】 疼痛	12月5日	全看護職員	10人	1.0時間	がん看護に関する知識を習得し、臨床に活用することができる
	1月16日		10人		
【オンデマンド】 検査値の読み方・考え方	11月28日	全看護職員	3人	1.0時間	検査値の異常と症例を結びつけ、検査値の異常の原因を考えることができる
	1月22日		3人		
【オンデマンド】 心不全と利尿薬	12月20日	全看護職員	3人	1.0時間	心不全の初期対応、胸部X線、治療、心不全と利尿薬について学ぶ
【オンデマンド】 全身状態とバイタルサイン・胸痛	11月15日	全看護職員	4人	1.0時間	全身状態とバイタルサインの関連について学ぶ。致死性の胸痛を想起し、鑑別を意識した病歴聴取と検査の組み立てについて学ぶ
	1月7日		4人		
【オンデマンド】 体内の水分と電解質	12月6日	全看護職員	10人	1.0時間	輸液の原則と実践、Na・K異常について学ぶ
	1月16日		10人		
【オンデマンド】 脳梗塞・脳出血	12月11日	全看護職員	8人	1.0時間	脳梗塞・脳出血の病態、臨床診断とその治療方針、再発防止について説明できる

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
【オンデマンド】 肺炎	12月24日	全看護職員	5人	1.0時間	肺炎の定義、診断、重症度の評価、起炎菌の同定、治療、予防について学ぶ
【オンデマンド】 発熱	11月22日	全看護職員	5人	1.0時間	発熱へのアプローチと不明熱とその考え方について
	1月14日		5人		

2 センター病院

	研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
1	新採用職員研修	4月3日	新採用職員	179人	1.5時間	・感染対策の基本(感染制御部) ・病院で働くうえでのマナー、個人情報取り扱い等(人事担当) ・医療安全について(医療の質・安全管理部)
2	新採用職員研修	4月3日～4月5日	診療放射線技師 (新採用職員)	7人	2.5日	講義と実習 ・放射線部のクレドについて : 中村康彦(放射線部技師長) ・病院・放射線部門の概要について : 宮内敦由(放射線部担当係長) ・個人情報管理について : 安藤聡志(放射線部担当係長) ・放射線部の安全管理について : 宮内敦由(放射線部担当係長) ・患者接遇体験 : 樋口なおと、碓氷光(診療放射線技師) ・医療人としての心得 : 樋口なおと、碓氷光(診療放射線技師) ・感染対策について・手洗い実習 : 十文字副看護部長(感染制御部看護師)
3	新採用看護師研修 オリエンテーション・集合研修	4月4日～5日 4月8日、4月10日	新採用 看護職員	85人	7.5時間	看護部組織、理念、勤務体制、倫理、接遇、個人情報管理、教育プログラム、組織における役割・心構えと行動について、業務管理、防災・災害管理、安全管理、感染管理、情報管理、メンタルヘルス、PNS、院内感染、ナーシングサポート視聴・ナースナビガイドランス・静脈認証 講義・演習 講師: 金子看護部長・副部長(小川・藤谷・十文字・永野・河原・池田)・白濱師長・精神看護専門看護師(若杉)・感染看護専門看護師(辻田) 担当: 教育・実習担当
4	新採用職員オリエンテーション	4月5日	研修医、 医療職	140人	30分	当院の感染対策 講師: 感染制御部 十文字美代子
5	新採用看護師 研修	4月6日	新採用 看護師	85人	1時間	感染防止の基本と技術 講師: 感染制御部 十文字美代子
6	新採用者研修	4月6日	放射線技師	8人	1時間	感染防止の基本と技術 講師: 感染制御部 十文字美代子
7	新入職員研修	4月8日	診療情報管理担 当 請求管理担当 新入職者	3人	15分	安全ボックスを用いた研修
8	ビジネスマナー研修	4月9日	新採用職員 (主に医療技術 職・研修医)	57人	7時間	患者対応、教職員間対応に必要な言葉遣い、電話対応、メールマナーなどを学ぶ
9	インシデントの事例周知(全部 署)	4月9日	全職員 (検査技師 /看護師)	81人	30分	各検査室別に過去のインシデントのうち重要周知事例、周知を要した昨年度事例を事例・要因、対策、周知を記載したものを閲覧、ミーティング時間に説明を実施、アンケートや振り返りを実施し、再発防止に取り組んだ。4/9から2か月の間にすべての部署で実施した。
10	附属2病院薬剤部合同研修会 (テーマ: 医療安全)	4月10日	薬剤部職員	12人	1時間	昨今の医療安全に関するトピックス、Safety-1、Safety-2の考え方について
11	新入職員研修	4月10日	診療支援部 新入職員	5人	30分	安全ボックスを用いた研修
12	人工呼吸器関連	4月11日	看護師	3人	1時間	NICU ハイフローセラピー勉強会 担当: 臨床工学部 吉田
13	センター病院における高難度 新規医療技術・未承認新規医 薬品等評価の審査体制	4月11日～30日	教員・医師・研修 医・看護職・薬剤 師・医療技術職・ 事務職	1,397人	e-learning	当院における高難度新規医療技術評価及び未承認新規医薬品等評価の体制について周知・理解を促す。
14	人工呼吸器関連	4月12日	看護師	8人	e-learning /資料配布	8-2 Savina勉強会 担当: 臨床工学部
15	その他 医療機器	4月15日	看護師	3人	1時間	NICU保育器新採用者研修会 担当: 臨床工学部 高木
16	CVC講習会①	4月15日	研修医/医師	33人	1時間	中心静脈カテーテル挿入・留置に関する講義およびシミュレーターを使った講習 講師: 麻酔科 佐藤医師 / 高度救命救急センター水上医師
17	その他 医療機器	4月17日	看護師	70人	1時間	新採用看護師研修 担当: 臨床工学部
18	人工呼吸器関連	4月18日	看護師	12人	e-learning /資料配布	14F病棟 Savina勉強会 担当: 臨床工学部 植木

	研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
19	令和6年度新採用者放射線業務従事者講習会	4月18日～30日	診療放射線技師 (新採用職員)	7人	30分	プログラム（動画視聴） 1. 放射線の人体への影響 浅川久(放射線部・放射線管理委員会) 2. 透視・血管撮影室における従事者の放射線防護について 山口聖(放射線部) 3. 放射線障害予防に関する法令・規則 中村康彦(放射線取扱主任者)
20	人工呼吸器関連	4月19日	看護師	9人	1時間	12-2ザビーナ勉強会 担当:臨床工学部 佐々木
21	復職者研修	4月22日	診療放射線技師 (復職職員)	1人	0.5日	講義 ・産休・育休期間中の放射線部のあゆみ :安藤聡志(放射線部担当係長) ・安全管理と個人情報保護 :安藤聡志(放射線部担当係長) ・係方針と業務管理(配置と休暇等) :安藤聡志(放射線部担当係長)
22	その他 医療機器	4月23日	医師	16人	30分	麻酔器 担当:臨床工学部 井田
23	人工呼吸器関連	4月24日	看護師	1人	1時間	13-1在宅呼吸器勉強会 担当:臨床工学部 植木
24	CVC講習会②	4月25日	研修医/医師	39人	1時間	中心静脈カテーテル挿入・留置に関する講義およびシミュレーターを使った講習 講師:心臓血管外科 桐ヶ谷医師/麻酔科 淵田医師
25	N95マスク フィットテスト	4月30日	診療放射線技師 (新採用職員)	6人	20分	講義と実習 N95マスクの説明とフィットテスト実習 ::十文字副看護部長(感染制御部看護師)
26	除細動器	5月4日	看護師	19人	1時間	13-2除細動器勉強会 担当:臨床工学部 池田
27	その他 医療機器	5月7日	看護師	6人	1時間	アイノフロー回路交換、開始シミュレーション 担当:臨床工学部 木村
28	人工呼吸器関連	5月8日	看護師	7人	1時間	人工呼吸器勉強会 担当:臨床工学部 木村
29	医薬品安全に関する研修②	5月8日～3月31日	医師・研修医	333人	e-learning	院内院外処方箋におけるPBPM (Protocol Based Pharmacotherapy Management) 運用について
30	医療安全基本の5問(2024年度版)	5月8日～3月31日	全職員	2,711人	e-learning /紙回答含む	医療安全に関する院内ルールの確認 医療法第6条の12
31	医療機器安全使用のための研修	5月16日	リハ部PT 診療補助員	20人	20分	昇降式ベッドの取り扱い説明、使用研修 講師:下田隼人
32	心肺蘇生	5月16日	育児休業復職者	4人	1時間	・スライドを用いて講義した。 ・ファントムを用いて心肺蘇生法を実技講習した。
33	人工呼吸器関連	5月21日	看護師	7人	1時間	11-1在宅呼吸器勉強会 担当:臨床工学部 高木
34	血液浄化関連	5月28日	看護師	6人	1時間	55X-2勉強会 担当:臨床工学部 加藤
35	血液浄化関連	6月3日	看護師	2人	1時間	CCU HD新人向け勉強会 担当:臨床工学部 千葉
36	令和6年度第1回医療安全講演会 (専門医共通講習:地域医療)	6月3日	全職員	101人	1時間	「能登地震からの教訓-覚悟をきめなければ人を救えない- 需要と供給のバランスから考える災害対応」 横浜市立大学 救急医学教室 主任教授 竹内一郎
37	医療機器の安全使用	6月5日～30日	医療職	2,871人	e-learning /資料配布	医療機器の安全使用、ハルスオキシメータ、除細動器① 担当部門:臨床工学部
38	安全コンテンツ各論:死亡時の 対応について	6月5日～30日	全職員	504人	e-learning	・患者死亡時のフローと対応の周知(Ai-死亡時画像診断・ 病理解剖に関する必要な知識習得) ・死亡時テンプレートの運用について 医師法第19条、第21条
39	「感染管理コンテンツ」 感染対策の基本と院内ルール 2024	6月5日～30日	全職員	1,871人	e-learning	感染対策の基本と院内ルール2024
40	未承認新規医薬品等評価の体制	6月5日～30日	教員・医師・研修 医;看護職;薬剤 師・医療技術職; 事務職	1,846人	e-learning	当院における未承認新規医薬品等評価の体制について、 周知・理解を促す。
41	除細動器	6月17日	看護師	14人	1時間	13-1フクダ除細動器勉強会 担当:臨床工学部 池田
42	除細動器	6月26日	看護師 放射線技師	5人	1時間	B2本館放射線 TEC5631 担当:臨床工学部 田村
43	移乗講習会	6月28日	全職員	20人	1時間	ベッド・車いす間の移乗動作介助方法を講義 講義担当: 藤浦達

	研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
44	CVC管理の指導者	6月17日 7月3日 7月17日 7月24日	安全委員 感染リンクナース 業務改善委員 教育委員	100人	1.5時間/回 ×4回	CVC管理の原理原則を踏まえた上で安全な看護技術を習得し、部署で役割モデルを発揮する 講義・演習 講師：医療の質・安全管理部 永野由美 担当：各員会担当看護師長
45	看護技術：静脈穿刺	6月26日 6月27日	新採用 看護職員	77人	3時間/回 ×2回	血管確保技術を理解し、手順を学ぶことができる 業務担当師長 西野美和 アドバイザー：各部署教育委員 担当：教育・実習担当 庄司
46	その他 医療機器	7月2日	看護師助産師	6人	1時間	NICU Arcticun勉強会 担当：臨床工学部 高木
47	急変時対応訓練(採血室)	7月3日	全職員 (検査技師/看護師)	11人	1時間	採血室での急変者に対応すべき内容を明確にし、診療科へ引継ぎつつ電子カルテに記録を残す事が確実に対応できるよう実施した。
48	CVポート管理研修	7月3日 9月11日 11月6日	全部署該当者	49人	45分/回	CVポートの知識を習得し、安全な穿刺・管理ができる 講義・演習 講師：放射線診療科医師 関川善二郎 地域連携室 和田伸子 阿崎真智子 担当：業務担当師長 西野美和 外来B師長 奥川 桂 がんゲノム医療・地域がん連携担当副部長 池田恵理
49	その他 医療機器	7月4日	医師、看護師、	5人	1時間	CCU NO勉強会 担当：臨床工学部 植木
50	感染対策の予防看護～感染による合併症を予防するケア～	7月5日 10月25日	キャリアラダーⅢ 承認研修	100人	1時間/回	適切な感性リスクのアセスメント、対策を実施し、部署で推進役割をとることができる 講義 講師：感染症看護専門看護師 辻田佳小里 担当：教育・実習担当 庄司
51	看護部 感染看護研修	7月5日 10月25日	看護師	100人	1時間	「感染予防看護～感染による合併症を予防するケア～」 講師：ICT・感染制御担当看護師 辻田佳小里
52	第1回コンプライアンス研修	7月5日～7月31日	全職員	1,859人	e-learning	令和元年7月に発生した個人情報漏洩いし事案の再発防止を目的に、個人情報の適正管理について実施
53	医療機器の安全使用	7月5日～7月31日	医療職	1,435人	e-learning /資料配布	人工呼吸器① 担当部門：臨床工学部
54	高難度新規医療技術を導入する際の体制	7月5日～7月31日	教員・医師・研修 医・看護職・薬剤 師・医療技術職・ 事務職	1,587人	e-learning	当院における高難度新規医療技術導入・評価の体制について、周知と理解を促す。
55	その他 医療機器	7月11日	看護師	22人	1時間	14階病棟フタダ電子12誘導心電計 担当：臨床工学部 田村
56	人工呼吸器関連	7月13日	看護師	20人	e-learning / 資料配布	14F病棟 Savina300勉強会 担当：臨床工学部 高木
57	第1回TeamSTEPPS研修	7月17日	全職員	23人	1.5時間	個人と組織のコミュニケーションとチームワークスキルを改善し、施設の医療安全を強力に推進する研修 講師：医療の質・安全管理部
58	心肺蘇生講習	7月17日 7月18日 7月23日	リハ部PT,OT,ST, 補助員	30人	1時間	心肺蘇生講習を部内で実技を含め開催 講師：染谷涼子・望月英樹・長尾絹枝
59	血管確保の指導者研修	7月18日 8月8日 9月20日	血管確保ブラッ シュアップ研修 指導者として推 進することができるもの	48人	1時間/回 ×4回	血管確保保持指導者として、部署内の「血管確保ブラッシュアップ研修」を推進するための知識・技術を習得する 講義・演習 担当：業務担当 西野美和、業務委員担当師長
60	その他 医療機器	7月23日	看護師	5人	1時間	ペースメーカー勉強会 担当：臨床工学部 小宮
61	CVC管理＋安全管理	7月29日 7月30日	新採用 看護職員	76人	3時間/回 ×3回	安全管理担当 教育委員 担当：教育・実習担当 庄司
62	ベシエントハラスメントへの対応術	8月1日～10月31日	全職員 (検査技師)	74	1時間	ベシエントハラスメントへの対応方法を動画にて学んだ。
63	医療機器の安全使用	8月6日～31日	医療職	545人	e-learning /資料配布	保育器①・血液浄化① 担当部門：臨床工学部
64	AST研修 感染症診療2024-抗菌薬編-	8月6日～31日	医療職	1283名	e-learning	感染症診療2024-抗菌薬編- (受講率 69.2% 任意)
65	AST研修 感染症診療2024-検査編-	8月6日～31日	医療職	1275名	e-learning	感染症診療2024-検査編- (受講率 68.2% 任意)
66	新採用職員向けKYT講習会	8月6日	新採用 診療放射線技師	11人	1時間	KYT4ラウンド法の演習
67	フィジカル入門(循環・呼吸・中枢)	8月6日	新採用 看護職員	72人	2時間/回 ×2回	救急看護認定看護師(富樫由香里) 担当：教育・実習担当 庄司
68	輸血	8月6日	新採用 看護職員	73人	1時間/回 ×2回	輸血部部長 担当：教育・実習担当 庄司
69	薬剤部業務報告会	8月8日	薬剤部職員	25人	15分	医薬品の棚配置統一が調剤ミスに及ぼす効果の検証
70	BLS研修	8月8日～11月28日	全職員 (検査技師)	27人	30分	心肺蘇生機器の取り扱いと心臓マッサージの方法を学んだ。
71	薬剤部業務報告会	8月12日	薬剤部職員	26人	15分	ビーリンサイトの注意事項

	研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
72	KYT研修(輸血部)	8月16日	全職員 (検査技師)	7人	30分	運用を変更したあとの潜在的に潜むリスクを検討し共有した。
73	MR磁場体験	8月19日 9月25日 10月8日 11月12日	全職員	20人	1時間	安全なMR検査を行うため ・MR検査室内で発生している磁場についてスライドを用いて説明 ・吸引力・体内金属について研修する。
74	リスクマップ会議	8月20日 9月3日 10月16日 11月7日 12月11日 2月6日 3月3日	診療放射線技師	42人	1時間	・部署で発生した小さなミスを集計し、リスクマップを作製した。 ・作成したリスクマップを活用し、インシデントを防止した。
75	人工呼吸器関連	8月20日	看護師	6人	1時間	NHF Savina勉強会 担当:臨床工学部 村瀬
76	緊急時対応訓練(生理機能検査室)	8月20日	全職員 (検査技師)	25	30分	具合が悪い人への対応方法を確認した。
77	MR Safety forum	8月23日	診療放射線技師 (二病院)	6人	1時間	MR検査を安全に実施するための基礎知識と対応方法
78	看護部リンクナース委員会研修	9月4日	リンクナース	27人	1時間	医療関連感染(VAP、BSI、UTI、SSI) 予防 講師:ICT・感染管理認定看護師 十文字
79	第2回TeamSTEPPS研修	9月4日	全職員	14人	1.5時間	個人と組織のコミュニケーションとチームワークスキルを改善し、施設の医療安全を強力に推進する研修 講師:医療の質・安全管理部
80	酸素療法・呼吸管理	9月5日	全職員	20人	1時間	酸素療法や呼吸管理についてに必要な知識を習得する講義 講師:クリティカルケア認定看護師 藤田 玲 担当:教育・実習担当 庄司
81	医療機器の安全使用	9月6日～30日	医療職	286人	e-learning /資料配布	補助循環(IABP+VAECMO) 担当部門:臨床工学部
82	人工呼吸器関連	9月11日	看護師	9人	1時間	NICU プリズマベント勉強会 担当:臨床工学部 高木
83	リーダーナースの急変予兆	9月14日 9月28日 11月9日 11月16日	キャリアラダーⅢ 承認研修	57人	3時間/回	急変の予兆ができ、リーダーナースとしての行動をとることができる 講義・演習 講師:認定看護師 担当:教育・実習担当 庄司
84	清掃業者(トーカイ)	9月17日 9月20日	清掃員	17人	45分	感染管理(吐物処理等)
85	第3回TeamSTEPPS研修	9月18日	全職員	18人	1.5時間	個人と組織のコミュニケーションとチームワークスキルを改善し、施設の医療安全を強力に推進する研修 講師:医療の質・安全管理部
86	患者誤認インシデントKYT	9月19日	患者総合サポートセンター職員	8人	30分	転院調整での患者取り違え症例を振り返る
87	KYT研修(採血室)	9月25日	全職員 (検査技師/ 看護師)	11人	30分	KYTとインシデントの考え方を学び、4R法を実施。気軽に報告できる雰囲気作りを課題とした。
88	嚥下機能アセスメント	9月30日	全職員	10人	1時間	高齢者特有のフィジカルアセスメントを理解し、高齢者の嚥下機能を含めたフレイルの評価がわかる 講義 講師:摂食嚥下障害看護認定看護師 古木龍一 老人看護専門看護師 志岐亮介 担当:教育・実習担当 庄司
89	高齢者の看護	9月30日	全職員	10人	1時間	高齢者の特徴や入院によって生じる変化について理解し、高齢者の特徴に合わせたケア方法がわかる 講義 講師:老人看護専門看護師 志岐亮介 担当:教育・実習担当 庄司
90	B2避難訓練	10月1日	診療放射線技師	11人	30分	本館地下2階からの簡易担架による搬送訓練
91	新採用職員研修	10月1日	診療放射線技師 (有期雇用職員)	1人	0.5日	講義 ・放射線部のあゆみ :真野陽貴(放射線部担当係長) ・安全管理と個人情報保護 :真野陽貴(放射線部担当係長) ・係方針と業務管理(配置と休暇等) :真野陽貴(放射線部担当係長)
92	リスクアセスメント研修	10月2日 10月8日 11月7日	部内安全管理委員 (検査技師)	13人	1時間	外部講師により、発生したインシデントの分析方法を学んだ。
93	急変対応(演習)	10月7日	全職員	22人	2時間/回 ×2回	急変の予兆に気が付き、急変を予測した行動がとれる 講義・演習 講師:救急看護認定看護師 富樫由香里 クリティカルケア看護認定看護師 三瀬留理子 小児救急看護認定看護師 金尾美穂 担当:教育・実習担当 庄司

	研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
94	医療機器の安全使用	10月7日～31日	医療職	1,490人	e-learning /資料配布	除細動器② 担当部門:臨床工学部
95	放射線安全利用の基礎	10月7日～31日	放射線従事者	1,584人	e-learning	1.患者の医療被ばくの基本的な知識及び考え方に関する こと 2.放射線診療の正当化に関すること 3.患者の医療被ばくの防護の最適化に関すること 4.放射線の過剰被ばくその他の放射線診療に関する事例 発生時の対応に関すること
96	患者確認- 同定と照合・患者参加 -	10月7日～3月31日	全職員	2,470人	e-learning /紙回答含む	現在、患者誤認事例が後を絶たない状況にあり、その対策 が急務です。 e-Learningを活用し、正しい患者確認方法の理解と、院内活 用のための運用方法周知と知識取得を目的としています。 医療法第6条の12
97	看護部次世代看護管理者研修	10月9日	看護師	10人	1.5時間	感染管理
98	KYT研修(病理検査室)	10月11日 10月15日 10月16日	全職員 (検査技師)	12	30分	原因分析の方法を学び、インシデントの意識向上を目指 す。
99	人工呼吸器関連	10月15日	医師、看護師	32人	1時間	救命monnalT60 担当:臨床工学部 高木
100	急変予兆	10月16日 10月30日	2年目看護職員	69人	2時間/回 ×6回	急変予兆の概念を理解し、フィジカルアセスメントの向上を 目指す。 アセスメントに基づき急変の予兆を発見し、SBARIに沿った 報告ができる。 講義・グループワーク・シミュレーション 講師:救急看護認定看護師 伊藤里香、富樫由香里 クリティカルケア看護認定看護師 藤田玲 各部署教育委員 担当:教育・実習担当 庄司
101	植込デバイス関連	10月17日	看護師	5人	1時間	CCU ICD・S-ICD・CRTD勉強会(新人・異動者研修) 担当:臨床工学部 木村
102	人工呼吸器関連	10月17日	看護師	5人	1時間	NICU 新生児用人工呼吸器勉強会 担当:臨床工学部 高木
103	薬剤部業務報告会	10月17日	薬剤部職員	24人	15分	ショートハイドレーション法を用いた食道癌FP療法における 安全性を検討する後方視的観察研究
104	その他 医療機器	10月18日	看護師	17人	1時間	12-1 フクダセントラルモニタ新規導入 担当:臨床工学部 山本
105	新人看護師研修	10月18日 10月29日	新採用看護師	76人	30分	ハイリスク薬に関する基本的知識やリスクを理解する ハイリスク薬の管理方法を理解する ハイリスク薬を安全に管理、使用する方法学ぶ
106	新採用者研修:12誘導心電図	10月18日 10月29日	新採用 看護職員	75人	2時間/回 ×3回	12誘導心電図の基本的知識を理解し装着を習得する 講義・演習 講師:慢性心不全看護認定看護師 長根真由美 教育委員 担当:教育・実習担当 庄司
107	薬剤の取り扱い	10月18日 10月29日	新採用 看護職員	77人	2時間/回 ×3回	薬剤師 担当:教育・実習担当 庄司
108	ECMO関連	10月23日	臨床工学技士	22人	30分	ME HHC-60導入研修 担当:臨床工学部 鈴木
109	達人ナースの急変予兆	10月23日	キャリアラダーⅣ 承認	2人	3時間	達人ナースとして臨床推論を活用した分析から、対応策を 考えることができる 講義 講師:重症・集中看護専門看護師 辻本真由美 担当:教育・実習担当 庄司
110	薬剤部業務報告会	10月24日	薬剤部職員	23人	15分	腎機能に関連した処方アシストシートの調剤時の活用状況 の調査
111	透視室:患者急変時訓練	10月25日	医師 看護師 診療放射線技師	20人	1時間	ERCP検査中の患者急変に対するシミュレーション訓練を 実施。訓練結果をもとに、各職種役割を明確にする。そ して、全スタッフが急変時に対応できるようにする。
112	令和6年度第2回医療安全講演 会	11月1日	全職員	109人	1時間	「管制官の業務について」、「管制官の安全管理について」 国土交通省航空局交通管制部 土橋卓弥/中田圭祐
113	CVC指導医講習会①	11月5日	医師	13人	1時間	中心静脈カテーテル挿入・留置に関する講義およびシミュ レーターを使った講習 指導的な立場の医師を対象として おり、各科指導者育成のため実施 講師:麻酔科 佐藤医 師
114	安全管理②	11月6日 11月11日	2年目看護職員	68人	3時間/回 ×3回	日々の看護実践を安全に取り組むため、意思を高める 講 義・グループワーク 講師:医療の質・安全管理部 永野由美 担当:教育・実習担当 庄司
115	BLS研修	11月6日	薬剤部職員 (薬剤師、事務)	2人	1時間/回	シミュレーターを用いた、一次救命処置技術の確認
116	KYT研修(検体検査室)	11月6日	全職員 (検査技師)	20人	30分	作業中に潜む危険に対し、リスクと予防対策を行った。イン シデントが起こりやすい時間帯を共有した。
117	医療機器の安全使用	11月6日～30日	医療職	1,321人	e-learning /資料配布	人工呼吸器② 担当部門:臨床工学部

	研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
118	安全コンテンツ各論: 転倒転落対策～予防を中心に～(2024年度版)	11月6日～30日	全職員	1,843人	e-learning	転倒転落予防対策について周知する
119	「感染管理コンテンツ」職員として知っておきたい就業制限が必要な感染症と当院の対策 2024年	11月6日～30日	全職員	1,706人	e-learning	職員として知っておきたい就業制限が必要な感染症と当院の対策
120	一般撮影室: 災害時訓練	11月7日	診療放射線技師	10人	1時間	地震発生時におけるシミュレーション訓練を実施。訓練結果を振り返り、行動フローやアクションカード等について問題点と改善点を検討する。
121	CVC指導医講習会②	11月9日	医師	11人	1時間	中心静脈カテーテル挿入・留置に関する講義およびシミュレーターを使った講習 指導的な立場の医師を対象としており、各科指導者育成のため実施 講師: 麻酔科 佐藤医師
122	その他 医療機器	11月19日	臨床工学技士	5人	1時間	バスケット勉強会 担当: 臨床工学部 佐々木
123	移乗講習会	11月19日	全職員	4人	1時間	ベッド・車いす間の移乗動作介助方法を講義 講義担当: 山田萌絵
124	ECMO関連	11月20日	臨床工学技士	13人	1時間	IABP TRANS RAY 担当: 臨床工学部 高科
125	人工呼吸器関連	11月22日	看護師	10人	e-learning / 資料配布	13-2 Savina300勉強会 担当: 臨床工学部 高木
126	リハ部急変時シミュレーション	11月26日	リハ部スタッフ	16人	1時間	訓練中の患者急変シナリオに基づきスタッフが対応シミュレーション ファシリテーター: 染谷涼子・望月英樹・佐野邦典・長尾絹枝
127	緊急時対応訓練(採血室)	11月27日	全職員 (検査技師 / 看護師)	10人	30分	採血室での急変者に対応すべき内容を明確にし、診療科へ引継ぎつつ電子カルテに記録を残す事が確実に実施できるように実施した。
128	KYT研修(生理機能検査室)	11月28日	全職員 (検査技師)	24	1時間	患者対応のリスク・対策を4R法を用いて実施。ペイシエントハラスメントへの対応を共有した。
129	緊急時対応訓練(輸血部)	11月29日	全職員 (検査技師)	6人	30分	自己血貯血患者が急変した場合の対応確認を実施。
130	医療機器の安全使用	12月5日～31日	医療職	454人	e-learning / 資料配布	保育器②・血液浄化② 担当部門: 臨床工学部
131	災害看護	12月3日 12月19日	新採用 看護職員	76人	3時間/回	災害・急変対応リンクナース会担当師長・伊藤里香・讃岐歩(DMAT)・伊藤圭恭(DMAT-L) 担当: 教育・実習担当 庄司
132	除細動器	12月3日	看護師	31人	1時間	7-2フクダ除細動器勉強会 担当: 臨床工学部 池田
133	治療計画CT室 急変時訓練	12月3日	医師 看護師 診療放射線技師	15人	1時間	治療計画CT室における造影剤使用時の急変時ロールプレイ、ディスカッション
134	一般撮影室 接遇検討ロールプレイング	12月5日	診療放射線技師	12人	1時間	撮影時における異物の写り込みを防止するため、更衣案内に関するロールプレイング(技師役・患者役)を実施。内容を振り返り、問題点と改善点について検討する。
135	認知症患者の看護	12月6日 12月23日	キャリアラダーレベルⅢを目指す 人 承認研修	43人	1時間/回	認知症の基本的な知識と認知症患者へのケア方法を学び、今後のp看護に活かす 講義 講師: 認知症看護認定看護師 井上健一郎 担当: 教育・実習担当 庄司
136	休日にできるリハビリ講習会	12月6日	病棟看護師	11人	1時間	休日、ベッドサイドで看護師が安全に患者さんに行えるリハビリについて実技含め指導 講師: 清水由貴
137	植込デバイス関連	12月10日	臨床工学技士	10人	30分	ダイヤモンドバック勉強会 担当: 臨床工学部 田村
138	13-1病棟看護師	12月11日 12月18日 12月25日	看護師	14人	1時間/回	実践の振り返り、PPE着脱と汚染の可視化で確認、対策の詳細再確認
139	血液浄化関連	12月13日	看護師	2人	1時間	CCU CHDF勉強会 担当: 臨床工学部 千葉
140	ECMO関連	12月18日	医師	7人	e-learning / 資料配布	ECMOシミュレーション 担当: 臨床工学部 澤田
141	その他 医療機器	12月19日	看護師	10人	1時間	GHCU MX-750(生体情報モニター)新規導入研修会 担当: 臨床工学部 鈴木
142	KYT研修(病理部)	12月19日	全職員 (検査技師)	13	30分	日常業務中に起こりうる危険を予測し、対策を考える能力をやしなう。
143	その他 医療機器	12月25日	臨床工学技士	16人	30分	フクダ電子 センtralモニタ新規導入研修 担当: 臨床工学部 千葉
144	その他 医療機器	12月25日	看護師	16人	1時間	救命後方病棟 センtralモニタ新規導入研修 担当: 臨床工学部 千葉
145	KYT研修(輸血部)	12月25日	全職員 (検査技師)	6人	30分	当直帯でのインシデントを受け、4R法にて実施。検体未受付時のリスクを共有した。
146	血液浄化関連	12月28日	臨床工学技士	21人	30分	ME室 DAD導入研修 担当: 臨床工学部 中元

	研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
147	医薬品安全に関する研修③	1月7日～31日	全職員	1,524人	e-learning	医薬品に関する安全管理
148	安全コンテンツ各論:安全な鎮静の実施に向けて	1月7日～31日	医療職	96人	e-learning	処置時等の鎮静に関する院内ルール周知と安全な手技に向けた知識の確認。
149	令和6年度 放射線業務(診療)従事者講習会 医療機器安全取扱研修(放射線治療)	1月6日～31日	放射線業務(診療)従事職員 (ガラスバッジ装着職員) 診療放射線技師 放射線治療科医師	61人	40分	プログラム (動画視聴) 1. 放射線の人体への影響 浅川久(放射線部・放射線管理委員会) 2. 透視・血管撮影室における従事者の放射線防護について 山口聖(放射線部) 3. 放射線障害予防に関する法令・規則 宮内敦由(放射線取扱主任者) 4. 放射線治療装置の安全な取扱い 樋口なおと(放射線部)
150	個人情報及び特定個人情報に関する所属研修	1月7日-2月28日	全職員	1,798人	e-learning	個人情報の保護に関する法律・横浜市個人情報の保護に関する条例に基づく個人情報の取扱いルールのほか、漏えい事故の事例とその対策等について学ぶ
151	第2回コンプライアンス研修	1月7日-2月28日	全職員	1,771人	e-learning	ハラスメントのない職場に向けて
152	人工呼吸器関連	1月10日	看護師	12人	e-learning /資料配布	9-2 ASTRAL勉強会 担当:臨床工学部 植木
153	4階災害机上訓練	1月21日	診療放射線技師 看護師	17人	1時間	4階の放射線部における災害時の対応について、机上でのロールプレイを通じたディスカッション
154	その他 医療機器	1月29日	臨床工学技士	25人	30分	MRI対応呼吸器 担当:臨床工学部 池田
155	個人情報に関わるヒアリング共有	1月30日	患者総合サポートセンター職員	8人	30分	各々の担当業務を振り返り、安全管理の意識を高める。個人情報漏洩リスクのある内容をピックアップし個人情報の取り扱いについて改めて確認をする
156	薬剤部業務報告会	1月30日	薬剤部職員	26人	15分	抗菌薬供給不安定と適正使用
157	人工呼吸器関連	2月3日	臨床工学技士	15人	30分	NKV330 担当:臨床工学部 佐々木
158	令和6年度第3回医療安全講演会 (専門医共通講習:安全管理)	2月3日	全職員	101人	1時間	「[大切にしよう!患者・ご家族とのコミュニケーション]～医療対話の伝道師に聞く!コンフリクトを予防・拡大防止する方法～」 山梨大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 特任教授/部長 荒神 裕之 先生
159	KYT研修(分子・微生物検査室)	2月4日	全職員 (検査技師)	6人	30分	危険に対する感受性を鋭くする。気付いた危険に対する問題解決能力を向上させる。
160	暴言・暴力対応研修(採血室)	2月6日	全職員 (検査技師)	9人	30分	暴力・暴言を受けた際の一次対応について研修し、安心安全な職場作りや医療提供を行う。
161	新採用職員フォローアップ研修 他職種を知るDr編	2月17日	診療放射線技師 (新採用職員) 新採用/学術委員	9人	1.25時間	講義 『スペシャリストから学ぶ! 医師編 ～救急の画像所見～』 中村医師(放射線診断科医師)
162	その他 医療機器	2月20日	臨床工学技士	19人	1時間	ME CA-300(ACT測定器)勉強会 担当:臨床工学部 中元
163	その他 医療機器	2月20日	看護師	29人	1時間	フクダ電子12誘導心電計勉強会(11-2病棟) 担当:臨床工学部 澤田
164	清掃業者	2月21日	清掃員	16人	30分/回	手指衛生、PPEの適切な着脱方法
165	KYT講習会	3月6日	診療放射線技師	7人	1時間	KYT4ラウンド法の演習
166	係長昇任予定者研修	3月7日	看護師	5人	45分	感染管理
167	災害机上シミュレーション訓練	3月14日	患者総合サポートセンター職員	9人	30分	3階フロアでは、平日入院患者と外来患者が混在しており、患者総合サポートセンター内職員も医療者と非医療者が在籍している。多職種でどのような連携を図り、患者家族・職員自身の安全を確保することができるのか、役割分担や必要な物品の配置場所の確認・適切な対応方法を検討する。
168	人工呼吸器関連	3月26日	看護師	31人	1時間	NICUTリロジ-勉強会 担当:臨床工学部
169	その他 医療機器	3月27日	看護師	211人	e-learning /資料配布	心電計導入研修(全体) 担当:臨床工学部 植木
170	空気感染対策、N95マスク	3月14日 3月24日	看護師	15人	各30分	空気感染対策、陰陽圧システム、N95マスクの正しい着脱方法・フィットテスト
171	心肺蘇生法講習会(実技)	通年	全職員	517人	30分	心肺蘇生の基礎を人形・AEDを用いた実技にて学習する
172	個人防護具の適切な着脱	通年	多職種	192人	30分	N95マスクフィットテスト、手袋・ビニールエプロン等の着脱
173	医薬品安全に関する研修①	通年	医師・研修医	244人	e-learning	麻薬及び向精神薬取締法の概要、麻薬の特性、当院の麻薬に関するルールを確認する。
174	心肺蘇生法講習会(動画)	通年	全職員	1,985人	15分	心肺蘇生の基礎を動画を用いて学習する

	研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
175	中心静脈カテーテル挿入・留置に関する安全管理(2024年度版)研修医以外	通年	医療職 (認定医師必須)	324人	e-learning	中心静脈穿刺・カテーテル留置に関する院内ルール周知と安全な手技に向けた知識の確認。
176	中心静脈カテーテル挿入・留置に関する安全管理(2023年度版)研修医用	通年	医療職 (研修医必須)	324人	e-learning	中心静脈穿刺・カテーテル留置に関する院内ルール周知と安全な手技に向けた知識の確認。※研修医向け
177	RRS(Rapid Response System)について知る(2024年度版)	通年	全職員	1,620人	e-learning	RRSのシステム理解と、院内活用のための運用方法周知と知識取得 急性期充実体制加算の取得要件
178	Rapid Response System(RRS)からSystem(RRS)活用方法	通年	全職員	1,893人	e-learning	施設基準要件となる研修となる。すでに年間計画で申請をしている「RRSを知る」に合わせ、全職員を対象に心肺蘇生の基礎に関する知識習得学び、改めて予防の大切さに繋げていく。(急性期充実体制加算の取得要件)